



Ⅲ 市民自治基礎学習事業 の概要

Ⅲ 市民自治基礎学習事業の概要

1 普遍的課題学習活動

平和・人権、環境や女性問題など、現代社会において市民生活を営む上で、年齢や性別にかかわらず、普遍的な課題を解決するための学習機会を提供し、市民意識の啓発や共生社会の形成に必要な能力を養うことを目的として開設した。

(1) 平和・人権学習

日本国憲法、教育基本法の理念に基づき、世界の平和および人権の尊重に関する学習機会を提供し、共に生きる地域社会の創造をめざすことを目的として1985（昭和60）年度から開設。

当初は平和に関する学級と人権に関する学級を別々に開設していたが、平和と人権問題が不可分であることが意識化され、1992（平成4）年度から両者を統合し、平和・人権尊重学級として開設される。

2011（平成23）年度の事業実施傾向としては、東日本大震災に関連する事業が多くみられた。

(2) 男女平等推進学習

性別役割分業の払拭や女性の地位向上など、性による差別や人権に関する問題解決に向けた学習機会を提供し、男女共同参画社会の実現及び共に生きる地域社会の創造をめざすことを目的として開設してきた。

1992（平成4）年度からそれまでの「婦人学級」から「女性学級」へと名称が変更され、2003（平成15）年度からは女性の課題から男女が共に学び合う学習へと転換を図り、男女共同参画社会の実現をめざす必要性から「男女平等推進学習」へと事業名を変更した。ここ数年の傾向として、「ワークライフバランス」の視点から夫婦や男女関係のあり方を学んでいく学級が増えた。最近では、男性の家事や育児への参加を目指した講座も増えている。

2 子育て・共育学習活動

子育て期に必要な諸課題に関して、継続的な学習の課題に内容を編成して事業を実施した。学習課題としては、個々の家庭や親子関係が直面する事柄に内在する問題とともに、次の世代を生み育てるために親として避けては通れないと思われる問題や、最近では、親と子どもを取り巻く環境の著しい変化に伴う新たな課題の解決をめざす方向にある。ワークショップなど様々な参加型学習形態を取り入れ、親同士の学び合いと仲間づくりを目指し企画運営している。

(1) 家庭・地域教育学級

子どもを豊かに育む地域社会を創造するために、子育てに関する家庭・地域課題の学習機会を提供し、家庭教育の充実をめざす事業として、市民館等で学級を実施した。

(2) 市民館保育活動

幼い子をもつ親の学習機会を保障するため主催事業に同伴幼児の保育を併設し、地域で支え合う子育て環境の醸成をめざす事業として、全館で実施した。保育併設は1950（昭和30）年代から婦人学級や生活学校などにおいて学習者相互の輪番制によって始められた。以降、保育対象事業は市民要望に沿って拡大され、現在では家庭・地域教育学級、男女平等推進学習、識字学習活動、市民自主学級・

市民自主企画事業などで実施されている。

(3) 保育ボランティア研修

市民館保育の担い手である保育ボランティアの養成及び資質向上を図る事業として実施された。

3 家庭教育推進事業

子どもを取り巻く地域社会の環境は大きく変化し続けており、子どもの理解、親子のコミュニケーションの取り方、大人としての地域のかかわり等について、地域と連携しながら身近な場の支援を目的とし、本事業を実施している。

(1) 区家庭教育推進協議会

推進協議会では、家庭・学校・地域の連携を前提に、PTA 家庭教育学級、自主グループ家庭教育学級等の円滑な遂行を確保することを目的として、協議・情報交換等を行った。また、家庭教育支援のあり方について、家庭教育支援チームを結成し、協議を行った。

(2) PTA 家庭教育学級講師派遣

子どもの理解や親の役割及び家庭環境、家庭教育に関する地域の諸課題等について PTA が実施する家庭教育学級に対し、講師派遣等の支援を行うことにより、子どもの健全な成長に向けた、学校・家庭・地域の連携による学習活動を実施した。

(3) 自主グループ家庭教育学級講師派遣

子どもの理解や親の役割及び家庭環境、家庭教育に関する地域の諸課題等に関する学級を、NPO、自主グループが実施する場合に、講師派遣等の支援を行うことを通して、子どもの健全な成長に向けた家庭・地域連携による学習活動を実施した。

(4) 子育て支援啓発事業

核家族化等により、家庭教育に関する情報を得にくくなっている子育て中の親子に向け情報交換や仲間づくりの機会提供等を目的として、子育て広場を実施するなど、各市民館において助言や会場確保等、様々な支援を行った。

(5) 家庭教育支援講座

子どもの理解や親の役割及び家庭環境、家庭教育に関する地域における諸課題等について、原則として各区役所関係機関と連携しながら、気軽に参加しやすい学習機会を提供することにより、親として市民としての学びを支援した。

Ⅲ 1 (1) 平和・人権学習

教文 平和・人権学習 (1)

タイトル：平和を考える

主 題：市内等の関係施設を巡り戦争と平和、防災について見つめなおす

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・15	土	講義や体験学習を通して受講生同士がお互いに話し合いながら学習し、平和の尊さや大切さに気づき、見つめなおす機会とする	オリエンテーション 平和学習とは	立正大学 名誉教授 藤田 秀雄
2	22	土		体験学習① 旧日本陸軍「登戸研究所資料館」見学	明治大学 講師 渡辺 賢二
3	11・4	金		体験学習② ～今、防災を考える 本所防災資料館見学と地震体験ほか	東京都消防庁本所防災資料館 職員
4	17	木		体験学習③ 慶應義塾大学日吉キャンパス内 「連合艦隊指令部地下壕」見学	日吉地下壕保存の会 会員
5	26	土		東日本大震災と人間の安全保障を考える 原発問題からの考察を交えて	藤田 秀雄

●開設場所 教育文化会館 他

●時間帯 主に10:00～12:00

●対象 関心のある方

●参加者数 14人(男11人、女3人)

●延べ人数 35人

教文 平和・人権学習 (2)

タイトル：さまざまな人がいる、さまざまを知ることからはじめよう

主 題：人権尊重について考え、さまざまな人を知ることの大切さを学ぶ

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2・4	土	NPO 法人ユニークフェイスの活動を知る	「ユニークフェイス・ライフ」上映及び講演、 NPO 法人立ち上げの経緯を知る	NPO 法人ユニークフェイス 代表 石井 政之
2	10	金	性同一性障がいを知る	性同一性障がいとは何なのか、当事者が感じた 社会の壁について知る	性同一性障害当事者とパートナーの会 代表 三星 朋
3	17	金	性分化疾患を正しく理解する	性同一性障がいとの違い、性の成り立ち、医学 的視点から性分化疾患について知る	国立成育医療研究センター 内分泌代謝科医長 堀川 玲子
4	3・10	土	差別意識に向き合う	自分の中の障がい者に対する差別意識に気づ き、向き合った人の経験と現在を知る	マザーズジャケット 代表 吉田 朋子

●開設場所 教育文化会館

●時間帯 18:30～20:30 (①④) 14:00～16:00)

●対象 関心のある

●参加者数 19人(男3人、女16人)

●延べ人数 86人

幸 平和・人権学習 (1)

タイトル：夏休み平和映画会

主 題：戦時を知ることにより平和への認識を深める

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	8・11	木	戦争体験に触れ、平和についての学習を深める	映画「蒼い記憶～満蒙開拓と少年たち～」の上 映、太平洋戦争 戦中・戦後の写真展示	職員 さいわい歴史の会

●開設場所 幸市民館

●時間帯 14:00～15:30

●対象 関心のある方

●参加者数 65人

幸 平和・人権学習（2）

タイトル：親子で学ぼう！ケータイ・ネット安全活用術

主 題：携帯電話やインターネットからの被害から子どもを守る

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	7・23	土		Eメールやチャットを安全に楽しく使ってみよう	NEC 社員ボランティア
2	8・19	金	携帯電話やインターネットの安全な利用法やマナーを学ぶ	①ケータイの安全な使い方を知ろう ②ケータイ・スパイ大作戦	NTTドコモあんしんインストラクター 鈴木 千代、吉松 明子 (公財)山口市文化振興財団 職員 会田 大也
3	28	日	携帯電話やパソコンの健全な利用について自分たちで考える	自分たちで“利用ルール”を作ろう	情報・視聴覚センター 指導主事 熊谷 顕太郎・栃木 達也
4	9・10	土	ケータイやパソコンから被る被害から自分の身を守る方法を知る	ケータイやインターネットからのトラブルに遭わないために	全国 web カウンセリング協議会 理事長 安川 雅史

●開設場所 幸市民館

●時間帯 主に 13:00 ～ 15:00

●対 象 主に小学生とその保護者

●参加者数 20人(男11人、女9人)

●延べ人数 28人

幸 平和・人権学習（3）

タイトル：サイエンスカフェ in さいわい

主 題：災害から子どもたちの未来を守るためにできることを考える

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・22	日		液状化被災地とこれからの対応	関東地質調査業協会 理事 田中 誠 社会貢献部会長 河野 寛
2	26	木	災害が発生するメカニズムと現時点で可能な災害の対策を知り、参加者同士の話し合いを通して、子どもの未来のために	他人事ではない液状化！	長岡工業高等専門学校 名誉教授 尾上 篤生
3	2・2	木	何ができるか地域において考える	あなたの家は本当に大丈夫？ ～自然災害と川崎の地盤・・・その関係～	田中 誠
4	9	木		放射能から子どもを守ろう	NPO 法人 市民科学研究室 代表理事 上田 昌文
5	12	日		子どもたちの未来を守るために語ろう ～みんなでディスカッション！～	幸区在住の市民4名他

●開設場所 幸市民館

●時間帯 主に 10:00 ～ 12:00

●対 象 関心のある方

●参加者数 35人(男11人、女24人)

●延べ人数 84人

●企画委員会 9回

●企画委員 5人

●保育内容 自由遊び

●保育参加者 4人(男3人、女1人)

●保育者 幸保育学習会

幸 平和・人権学習（4）

タイトル：被災地からの声を聴く～宮城県気仙沼市から迎えて～

主 題：東日本大震災における被災体験から学ぶ

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	3・4	日	大災害に対する日頃の備えと窮状における助け合いの大切さを学ぶ	東日本大震災の被災体験から学ぶ	道の駅大谷海岸 駅長 米倉 兵一

●開設場所 幸市民館

●時間帯 13:00 ～ 15:00

●対 象 関心のある方

●参加者数 62人

中原 平和・人権学習

タイトル：なかはら平和セミナー

主 題：とことん原発を考えよう～子どもたちの未来のために

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・12	水	日本人の平和な暮らしを脅かしている原発災害や放射能について学び、平和で安心な社会を築き、子どもたちの未来を守るために、市民がどうすればよいか、エネルギーのあり方やライフスタイルをどうあるべきかを考える	福島原発で何が起きたか～私たちの未来はどうなる【公開講座】	原子力資料情報室 共同代表 伴 英幸
2	26	水		原発の技術と「安全神話」	元原子力プラント設計 技術者 後藤 政志
3	11・9	水		日本人と核～ビキニ事件から「3.11」へ	元第五福竜丸乗組員 大石 又七
4	30	水		放射能から子どもの未来を守る	NPO法人セイピースプロジェクト 代表 隅田 総一郎
5	12・14	水		原発問題をどう考えるか【ワークショップ】	企画委員
6	1・11	水		原発労働者と被曝の恐怖	フォトジャーナリスト 樋口 健二
7	25	水		3.11 後の市民運動の新たな展開	都留文科大学 准教授 平林 祐子
8	2・8	水		エネルギーシフトは可能か	(株)エナジーグリーン 副社長 竹村 英明
9	15	水		川崎臨海地区のエコ発電地帯を歩く【フィールドワーク】	各施設職員
10	22	水		子どもの未来をどう守るか【リレートーク】	東日本大震災被災者 高田 昇 「福島の子どもたちとともに」 川崎市民の会 代表 高橋 真知子

●開設場所 中原市民館 ⑨のみ現地

●時間帯 主に18:30～20:30

●対象 関心のある方

●参加者数 76人(男35人、女41人)

●延べ人数 324人(公開講座144人)

●企画委員会 7回

●企画委員 16人

高津 平和・人権学習(1)

主 題：「希望」を持って共に生きていくために

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・15	土	「障がいのある人」、「心の病と共に生きる人」、外国人市民、途上国の子どもたちなどの実情から、人権と共生について考える	川崎市で第1号の「全盲」の事務職員の体験をヒントに、ノーマライゼーションと「共生」について語り合う	高津市民館 担当係長 新井 健司
2	29	土		精神障がい者の地域作業所として1996年に溝口で開店した喫茶店の活動から、人権を考える	NPO法人たかつ de ほっと 副理事長 喜納 辰洋
3	11・6	日		非漢字圏の子どもたちの高校進学支援を考える～市立中学に在籍する外国人生徒・保護者の相談の場を兼ねて～	NPO法人多文化共生教育 ネットワークかながわ 理事 高橋 清樹
4	19	土		東北関東大震災障害者救援本部の活動から～3.11をこの国のターニングポイントに～	NPO法人自立生活センター STEPえどがわ 事務局長 今村 登
5	26	土		在日韓国人の私が考える、真の「共生」とは	在日韓国人市民 曹 在龍
6	12・3	土		①エイズで親を亡くしたケニアとウガンダの子どもたちへの教育支援 ②学習全体のまとめ	エイズ孤児支援 NGO・PLAS 代表理事 門田 瑠衣子 職員・企画委員

●開設場所 高津市民館

●時間帯 13:30～16:00

●対象 関心のある方

●参加者数 38人(男18人、女20人)

●延べ人数 51人

高津 平和・人権学習(2)

タイトル：震災と原発からいのちについて考える

主 題：震災と原発事故から人権について考える

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・13	金	3・11の原発被災者をテーマとした映画を通じて学習に対する導入をはかる	ドキュメンタリー映画「10年後の空へ」～OKINAWAとフクシマ～鑑賞と話し合い	職員 企画委員
2	20	金	原発事故から人権を考える	福島原発で、起きていることについて知る	原発とエネルギー問題の研究会 たんぼぼ舎 山崎 久隆
3	27	金		原発労働者に起きている健康被害・食の安全について知る	NPO法人原子力資料情報室 渡辺 美紀子
4	2・3	金	被災地の子どもたちから人権を考える	震災のもたらした被害・子どもたちの様子について知る	NPO法人チャイルドラインみやぎ 代表理事 小林 純子
5	10	金	震災を通じて生きにくい世の中と人権問題について考える	震災後、被災地の貧困が深刻化している現状について知る	NPO法人もやい 理事長 稲葉 剛
6	24	金	ひとりひとりができることについて考える	学習のふりかえり	職員 企画委員

●開設場所 高津市民館

●時 間 帯 18:30～20:30

●対 象 関心のある方

●参加者数 50人(男23人、女27人)

●延べ人数 185人

●企画委員会 3回

●企画委員 3人

宮前 平和・人権学習

タイトル：東日本大震災から安全・安心を考える

主 題：東日本大震災を通して安全・安心なまちづくりを考える

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・27	木	東日本大震災について体系的に整理をする	東日本大震災が、人々にもたらしたのは？	(株)日本総合研究所 理事 湯元 健治
2	11・10	木	東日本大震災による影響を考察する	東日本大震災が与えた影響① ～こころの視点から～	高等学校 教諭 赤城 修司
3	24	木		東日本大震災が与えた影響② ～経済の視点から～	経済アナリスト 馬淵 治好
4	12・1	木	東日本大震災からエネルギーについて考察する	原発について考える① ～原子力発電所について考える～	原子力資料情報室 西尾 漠
5	8	木		原発について考える② ～放射能について考える～	東京大学大学院工学系原子力専攻 教授 小佐古 敏荘
6	15	木		原発について考える③ ～地震について～	東京大学地震研究所 准教授 都司 嘉宣
7	1・12	木		私たちのエネルギーについて考える	エネルギー専門家 竹村 英明
8	19	木	東日本大震災から食糧について考察する	私たちの食の安全について考える	東京農業大学 教授 北村 行孝
9	26	木	安全・安心な暮らしについて考察する	地域における防災について考える	防災危機ジャーナリスト 渡辺 実
10	2・16	木		今後の備えについて考える	

- 開設場所 宮前市民館 他
- 対 象 関心のある方
- 企画委員会 8回

- 時 間 帯 14:00～16:00
- 参加者数 53人(男30人、女23人)
- 企画委員 5人
- 延べ人数 270人

多摩 平和・人権学習(1)

タイトル：ティーンエイジャーの今を考える ～ひとりひとりの居場所～

主 題：中学生・高校生の「居場所」づくりについて考える

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・22	木	若年層の就労問題や自傷行為といった、現代社会で起きている問題の具体的な事例について学ぶ	オリエンテーション 子ども・若者の参加と人権	早稲田大学 教授 喜多 明人
2	29	木	さまざまな問題に直面している青少年をサポートしている方から、どのようなことが必要とされているかを学ぶ	命の大切さ・生きる権利	都立松沢病院 精神科部長 林 直樹
3	10・6	木	自分たちができることについて話し合う	ひとりひとりの居場所づくり①	NPO 法人フリースペース「たまりば」 理事長 西野 博之
4	12	水		ひとりひとりの居場所づくり②	13歳のハローワーク公式 サイト 編集長 松尾 和祥
5	20	木		学級を振り返って(まとめ)	職員

- 開設場所 多摩市民館
- 対 象 関心のある方
- 参加者数 17人(男3人、女14人)
- 企画委員会 7回
- 時 間 帯 10:00～12:00
- 延べ人数 47人
- 企画委員 2人

多摩 平和・人権学習(2)

タイトル：震災と原発を経て私たちが学ぶべきこと

主 題：被災地の現状を知り、原発問題に今後どう向き合えばよいか考える

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・14	土		被災地派遣職員による報告	多摩区役所地域振興課 津田 淳・高木 直子
2	28	土	震災及び原発の事故により、私たちの暮らしに深刻な影響をもたらした住民の避難、被曝、食物の放射能汚染などについて考察し、安心して明るい未来にするために災害とどう向き合えばよいか考える	被災者の心のケアについて ～身体面・精神面の不安を取り除くため～	多摩区役所地域保健福祉課 課長 水野 亮子 係長 池上 洋未
3	2・4	土		震災による食品や人体の影響について	聖徳大学 教授 林 徹
4	18	土		憲法から震災問題について学ぶ	三多摩法律事務所 弁護士 小林 克信
5	25	土		子ども達を放射能から守るためには	八王子中央診療所 理事長 山田 真
6	3・3	土		学級を振り返って(まとめ)	臨床検査技師 矢沢 洋子 職員

- 開設場所 多摩市民館
- 対 象 関心のある方
- 企画委員会 7回
- 時 間 帯 14:00～16:00
- 参加者数 28人(男7人、女21人)
- 企画委員 2人
- 延べ人数 87人

麻生 平和・人権学習（1）

タイトル：岐路に立つ国際化社会

主 題：多文化主義を多角的にとらえる

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2・8	水	多文化主義に反対する動きもある中、困難に直面しながらも力強く前に進む各国の歩みについて学ぶ	外国人地方参政権を実現した韓国の最新状況	中央大学 兼任講師 宣 元錫
2	15	水		多文化共生と市民活動①	東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター フェロー 吉田 聖子
3	22	水		外国人市民の方が生活の場や職場で抱えている問題を共有する	NGO カラバオの会 植田 善嗣
4	29	水		多文化共生と市民活動② 市民活動へのウォーミングアップ	吉田 聖子
5	3・7	水		ヨーロッパにおける多文化主義の現在	お茶の水女子大学 名誉教授 宮島 喬

●開設場所 麻生市民館

●時間帯 14:00～16:00

●対 象 関心のある方

●参加者数 21人(男9人、女12人)

●延べ人数 45人

麻生 平和・人権学習（2）

タイトル：脱・エネルギー、脱・経済で幸せなくらし？！

主 題：エネルギー、経済成長に頼らない幸せや豊かさを考える

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・20	金	震災以降、エネルギーや経済に依存した豊かさや幸せには疑問がなげかけられている。違う尺度や、実践をしている方の話を聞き、自分の暮らしを振り返り、エネルギーや経済成長に頼らない幸せや豊かさを考える	幸福度調査について知る ～しあわせってなんだっけ	(公財) 荒川区自治総合研究所 理事・所長 二神 恭一
2	27	金		シンプルライフでもっと豊かになれる ～大量生産・大量消費で幸せになれるのか	フリーライター 金子 由紀子
3	2・3	金		幸せは操作されているか ～震災・エネルギー報道とメディア	NPO 法人 FCT メディア・リテラシー研究所 理事 新開 清子
4	10	金		脱エネルギー、脱経済の実践者による幸せなくらしの話をきく	国際環境 NGO Surfrider Foundation Japan 事務局長 松原 広美
5	17	金		経済成長はいつまで可能なのか ～社会と経済の幸せな関係～	幸せ経済社会研究所 研究員 飯田 夏代

●開設場所 麻生市民館

●時間帯 14:00～16:00

●対 象 関心のある方

●参加者数 32人(男17人、女15人)

●延べ人数 83人

Ⅲ 1 (2) 男女平等推進学習

教文 男女平等推進学習

主 題：私たちが考える防災・減災

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・ 11	金	防災・減災対策における、男女双方の視点の違い、特に女性の視点やニーズをどのように反映していくか等、男女共同参画の視点を取り入れた防災・減災のあり方について、震災の検証や防災ノートの作成等とおして考えていく	災害から私たちが身を守る方法を家庭や地域から考えよう	防災ネットワークプラン 代表 井上 浩一
2	18	金		川崎の女性の災害支援についての話しを聞き、関心を深め、地域に役立てよう	川崎市男女共同参画センター 館長 鈴木 悦子
3	25	金		被災地から見える女性の心の状態とメンテナンスについて知る	国際医療福祉大学 講師 山下 留理子
4	12・ 2	金		女性の視点から災害を考える	和光大学 教授 竹信 三恵子
5	9	金		女性の視点から考える防災のための地域づくりや絆づくりとは	東京都市大学 講師 大海 篤子
6	9	金		私のための防災ノートを作ってみよう①	NPO 法人 サポート唯 理事 田中 千鶴子
7	1・ 13	金		私のための防災ノートを作ってみよう②	企画委員 職員
8	20	金		私たちが今何ができるか考える	(有)毎日の生活研究所 代表 矢郷 恵子

●開設場所 教育文化会館

●時 間 帯 主に 10:00 ～ 12:00

●対 象 関心のある方

●参加者数 17人(男2人、女15人)

●延べ人数 67人

●企画委員会 3回

●企画委員 2人

幸 男女平等推進学習

タイトル：女性のワークライフバランスを考える

主 題：自分にとっての“幸せのものさし”を探そう

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・ 29	日	講座のねらいを知り、受講者同士が知り合う	自己紹介・オリエンテーション	職員
2	2・ 5	日	ワークライフバランスの考え方を理解する	“ワークライフバランス”から生れる幸せって、何?	(株)ワーク・ライフバランス コンサルタント 高安 千穂
3	11	土		私のワークライフバランスを考えてみよう	
4	18	土	法律学における女性史を学ぶ	三木先生に聞いて納得!女性の生き方・今昔	弁護士 三木 恵美子
5	25	土	これからの生き方・働き方について考える	私らしい素敵な生き方を見つけよう ～お菓子づくりとお話～	料理研究家 関口 一美
6	3・ 4	日		これまでの学級を振り返り、今の気持ちを共有しよう	玉川大学 准教授 中村 香
7	10	土		気づきを言葉にしてみよう	職員
8	17	土	自分らしい幸せについて考える	私にとっての幸せとは?	組織と人の幸せづくり研究所 主席研究員 間宮 隆彦

●開設場所 幸市民館

●時 間 帯 主に 10:00 ～ 12:00

●対 象 15歳以上の関心のある方

●参加者数 20人(男1人、女19人)

●延べ人数 115人

●企画委員会 4回

●企画委員 5人

●保育内容 自由遊び

●保育参加者数 7人(男4人、女3人)

●保育者 幸保育学習会

中原 男女平等推進学習

タイトル：私たちの生き方／働き方を考える

主 題：生きやすい／働きやすい社会について考える

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・20	木	海外の男女の社会進出状況について学ぶ①	ジェンダーギャップ解決に向けて学ぶ北欧・韓国の女性政策	和光大学 元教授 船橋 邦子
2	27	木	海外の男女の社会進出状況について学ぶ②	アメリカ社会における男女の社会進出	朝日新聞記者・前ロサンゼルス支局長 堀内 隆
3	11・17	木	海外の男女の社会進出状況について学ぶ③	現代イスラム社会の女性たち — アフガニスタンの現場から —	日本国際ボランティアセンター 谷山 由子
4	24	木	現代の雇用問題について考える①	格差社会と男女 — もやいの活動から —	NPO 法人自立生活サポートセンターもやい うてつ あきこ
5	12・8	木	現代の雇用問題について考える②	男女の貧困と非正規雇用	働く女性の全国センター 共同代表 伊藤 みどり
6	22	木	現代の雇用問題について考える③	貧困と川崎市のホームレス問題	NPO 法人川崎水曜パトロールの会 水嶋 陽
7	1・19	木	川崎市の共同参画社会について学ぶ	地域で取り組む男女共同参画 — 数字でつかむ!川崎の今★ —	川崎市男女共同参画センター事務局長 脇本 靖子
8	2・2	木	川崎市を中心に女性と男性の雇用を学ぶ	女性と男性の雇用状況 — 川崎市内を中心に —	川崎労働組合総連合事務局事務局長 福本 一博
9	16	木	ワークライフバランスについて考える	男性のワークライフバランス — イクメンとイクジイ —	NPO 法人ファザーリングジャパン 理事 東 浩司
10	3・1	木	学習のまとめ	今までの学習を振り返る	職員

- 開設場所 中原市民館 ⑦すくらむ 21 ●時 間 帯 10:00～12:00
- 対 象 関心のある方 ●参加者数 23人(男7人、女16人) ●延べ人数 91人
- 保育内容 自由遊び ●保育参加者数 2人(男1人、女1人) ●保 育 者 ぽかぽか

高津 男女平等推進学習

タイトル：プレママ・プレパパへの贈りもの

主 題：～育児書では教えてくれないこと～

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・10	土	想いを共有する	みんなで話そう!マタニティライフ この時期特有の悩みや不安を話し合う	橘分館 館長 小柳 俊子
2	17	土	お産の実態について学ぶ	私らしいお産って何だろう	誕生学協会認定バースコーディネーター 植松 厚子
3	24	土	男性視点のワークライフバランスについて	育メンのススメ 先輩パパからの講義	NPO 法人ファザーリングジャパン 東 浩司
4	10・1	土	体を動かしてリフレッシュする	マタニティヨガ	オリーブ母子相談室 柳澤 裕美
5	8	土	区内の子育て情報について知る	先輩ママからの話	先輩ママ
6	15	土	実習を通して、男女の役割を振り返る	パパの料理教室、ママのおもちゃづくり	料理研究家 神内 由里 ぐるーぷ・もこもこ

- 開設場所 高津市民館 ●時 間 帯 主に10:00～12:00
- 対 象 第一子を妊娠中の方とパートナー
- 参加者数 12人(男0人、女12人) ●延べ人数 70人

宮前 男女平等推進学習

タイトル：“男女平等”今のままで大丈夫？

主 題：共に手を取り合える社会であるために

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	12・10	土	ジェンダーや男女平等についての基本を知る	男女平等・ジェンダー・男女共同参画とは	駒沢大学 准教授 松信 ひろみ
2	1・14	土	様々な環境を整える	『学ぶ』ための時間をつくる ～家事のコツを知る～	株式会社ベアーズ 専務取締役 家事研究家 高橋 ゆき
3	28	土	自分を取り巻く“ジェンダー”について考える	発達心理学とジェンダー	聖徳大学 教授 相良 順子
4	2・4	土		日本の歴史から見たジェンダー	帝京大学 教授 横山 百合子
5	25	土		男女の問題と実態 ～法の現場から～	藤原朋奈法律事務所 第一東京弁護士会 所属弁護士 藤原 朋奈
6	3・3	土	自分達の未来について	振り返り・まとめ 学ぶとは	日本女子大学 助教 山澤 和子

●開設場所 宮前市民館

●時間帯 13:00～16:00

●対 象 関心のある男女

●参加者数 13人(男4人、女9人)

●延べ人数 27人

多摩 男女平等推進学習(1)

タイトル：わたしとあなたのパートナーシップ

主 題：男女が生き活きとした毎日を送るため、対等なパートナーシップについて考える

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・12	木	ワークライフバランスについて学び、男女の対等なパートナーシップについて考える	オリエンテーション 対等なパートナーシップとは	川崎市男女共同参画センター 事務局長 脇本 靖子
2	19	木		ワークライフバランスで男女が変わる！	関東学院大学 准教授 井田 瑞江
3	26	木	女性の再チャレンジについて学ぶ	再チャレンジで生き活きとした毎日を	ハナマルキャリアコンサルタント 上田 晶美
4	2・2	木	円満な人間関係を築くための知恵を学ぶ	「江戸しぐさ」で毎日を気持ちよく	NPO 法人江戸しぐさ 理事長 越川 禮子
5	9	木	円滑なコミュニケーションの持続について学ぶ	パートナーとのトラブル解消法	NPO 法人日本家族問題相談連盟 理事長 岡野 あつこ
6	16	木	自分たちができることについて話し合う	学級を振り返って(まとめ)	職員

●開設場所 多摩市民館

●時間帯 10:00～12:00

●対 象 関心のある方

●参加者数 15人(男3人、女12人)

●延べ人数 47人

多摩 男女平等推進学習(2)

タイトル：仕事・家事・育児 男の毎日、一歩前へ！

主 題：男女が生き活きとした毎日を送るため、ワークライフバランスについて理解を深める

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2・12	日	ワークライフバランスについて学ぶ	オリエンテーション 男たちのワークライフバランス	(株)ヒューマンルネッサンス研究所 取締役研究部長 中間 真一
2	19	日	父親の育児参加について考える	パパの悩みにお答えします	パパの悩み相談横丁 管理人 おおた としまさ

3	26	日	仕事との向き合い方を考える	きっと月曜日が待ち遠しくなる!	(株)ティップトップマーケティング 代表取締役 馬渡 あかね
4	3・11	日	時間の活用法を学ぶ	「時間貧乏」から脱出しよう	(有)ビズアーク 取締役社長 水口 和彦
5	25	日	自分たちができることについて話し合う	学級を振り返って(まとめ)	職員

- 開設場所 多摩市民館
- 時間帯 10:00～12:00
- 対象 関心のある方
- 参加者数 12人(男9人、女3人)
- 延べ人数 47人

麻生 男女平等推進学習

タイトル：笑顔のDEWKSライフ

主 題：～子育てファミリーの共力・共育・協働～

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・3	土	働きながら子育てをするということは夫婦の協力が不可欠である。性的役割分業を考え直し、子どもの成長を楽しみながら日々の生活を送るためには男女が対等なパートナーとしてお互いを尊重し合うことが必要であることを学ぶ	オリエンテーション 自己紹介	職員
2	10	土		知ろう!子どもの病気とけが	まつしま病院 小児科医 佐山 圭子
3	17	土		ワーク・ライフ・バランスって?	産休後コンサルタント 山口 理栄
4	24	土		保育施設情報	麻生区役所 こども支援室 職員
5	10・1	土		パパ★クッキング	食と心のオフィスワクワクワーク 菅野 のな・松波 苗美
6	15	土		パパの手作りお弁当を持ってお出かけ	職員
7	22	土		パパもママも笑顔で子育て	スマイル・ワン代表 大槻 笑子
8	29	土		心を育む絵本・素話 ～パパが読み聞かせ!～	児童文化専任講師 城内 三枝子
9	11・12	土		ワーキングカップルサロン ～子育てしながら働くということ～	マドレボニータ専任講師 水口 陽子
10	26	土		講座の振り返り	職員

- 開設場所 麻生市民館
- 時間帯 10:00～12:00
- 対象 共働きの夫婦
- 参加者数 25人(男11人、女14人)
- 企画委員会 7回
- 企画委員 1人
- 保育内容 自由遊び
- 保育参加者数 7人(男4人、女3人)
- 保育者 ジャンケンポン

Ⅲ 2 (1) 家庭・地域教育学級

教文 家庭・地域教育学級 (1)

タイトル：いきいき育児・育自しようよ！

主 題：心を豊かに育む子どもとの関わり方を学ぶ

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	6・9	木	お互いを知り、交流し、学級を理解する	オリエンテーション／自己紹介 他	ポピンズ 職員
2	16	木	子育てや子どもとの関わり方を考え、見つめ直し、学び合うことで自分育ちをめざし、心を育む関わり方を学んで今後の子育ての充実を図る	母親の「笑顔」が子どもや親子関係に及ぼす効果と実践を学ぶ	スマイル・ワン 代表 大槻 笑子
3	23	木		ほめるより子どもが伸びる！勇気づけの子育て法を学ぶ	Hearty Smile 代表 原田 綾子
4	30	木		絵本を通して豊かな心を育てよう① 絵本育児、対話式読み聞かせを学ぶ	劇団天童・天童芸術学校 主宰 浜島 代志子
5	7・7	木	絵本を通して豊かな心を育てよう② 振り返り		

- 開設場所 教育文化会館
- 対 象 2歳～未就学児を持つ親
- 保育内容 自由遊び
- 保 育 者 ポピンズ
- 時 間 帯 10:00～12:00
- 参加者数 22人(男0人、女22人)
- 保育参加者数 11人(男6人、女5人)
- 延べ人数 78人

教文 家庭・地域教育学級 (2)

タイトル：みんなで考えてみる子育て～子どもの成長・自分の成長

主 題：今、知っておきたい子育てのいろいろ

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・19	木	いろいろな角度から、様々な子育て支援者等の幅広い体験や事例を聞き、子育てのヒントをつかむと同時に、日頃抱えている感情、思いを共有し、今後の生活に活かす	生活環境に応じて成長を促す子育てとは～2歳児だからこそ大切なことって？	私立風の谷幼稚園 園長 天野 優子
2	26	木		「ひとりで悩まないで…」子育て期の相談事業に携わって見えてきたもの	NPO法人ひだまりの森 理事長 林 順子 副理事長 渡邊 美樹
3	2・2	木		甘えさせることと甘やかすことの違いつて？～保育経験からのお話と助言	日の丸自動車学校保育室 保育士 高義 淳子
4	9	木		子育てを支援する企業の取組～企業戦略と社会貢献・Q & A ほか	(株)赤ちゃん本舗 経営企画部 広報 岩永 優美 他
5	18	土		(公開講座) 子どもや家族が安心して暮らすための放射線の知識を学ぶ	聖マリアンヌ医科大学 市立多摩病院 画像診断部 吉田 篤史

- 開設場所 教育文化会館
- 対 象 主に2歳～未就学児を持つ親
- 参加者数 20人(男0人、女20人) ※公開講座は135人
- 保育内容 自由遊び
- 保 育 者 ポピンズ
- 時 間 帯 主に10:00～12:00
- 保育参加者数 12人(男8人、女4人)
- 延べ人数 192人

大師 家庭・地域教育学級

タイトル：「今さらだって、いいじゃない」

主 題：情報に翻弄されず、今日の前に居る子どもと向き合う大切さを学ぶ

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	6・ 2	木	公共の場でも子どもと向き合うのではなく、携帯画面と向き合っている親を見かける。今からでも遅くはない。これからでもいい。いろいろな場面であらためて子どもと向き合うことの大切さを学ぶ	オリエンテーション・保育説明・自己紹介	保育グループ「クローバー」 職員
2	9	木		あなたはどっち？ 子育て中の自分に向き合う	絵本作家・幼児教育研究者 あき びんご
3	16	木		遊びを通して 子どもの笑顔と向き合う	表現教育インストラクター 親子遊び研究者 篠 秀夫
4	23	木		料理を通して 子どもの健康と向き合う	管理栄養士 米井 智子
5	30	木		音楽を通して 子どもの心と向き合う	元玉川大学 講師 作曲家 小宮路 敏
6	7・ 7	木		保育の報告 まとめ	保育グループ「クローバー」 職員

- 開設場所 大師分館
- 対 象 2才以上の子どもを持つ保護者
- 参加者数 12人(男0人、女12人)
- 保育内容 自由遊び 他
- 保 育 者 保育グループ「クローバー」
- 時 間 帯 10:00～12:00
- 延べ人数 57人
- 保育参加者数 6人(男2人、女4人)

田島 家庭・地域教育学級

タイトル：「お母さん、子供の心見えてますか」

主 題：親子のコミュニケーション術を学ぶ

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	7・ 25	月	親子のコミュニケーション術を学び、地域の中で支えあって子育て親育てを实践する	オリエンテーション	職員
2	8・ 1	月		子供の行動を知る	グループダイナミクス研究所 対馬 文子
3	8	月		ほめると勇気づけ	
4	22	月		命の授業 ①	作家 安達 倭雅子
5	9・ 5	月		命の授業 ②	
6	12	月		まとめ	ほっぷほっぷ 代表 長島 千佳

- 開設場所 田島分館
- 対 象 小学生以上の子を持つ親
- 参加者数 8人(男0人、女8人)
- 保育内容 自由遊び他
- 時 間 帯 10:00～12:00
- 延べ人数 39人
- 保育参加者数 10人(男5人、女5人)
- 保 育 者 5人

幸 家庭・地域教育学級

タイトル：おとなのための子育て学び場～もっとステキなわたしに～

主 題：今の子どもたちの現状を学びながら自分自身のことを見つめる

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・19	木	お互いを知り学級のねらいを知る	出会いを楽しむ	参画はぐくみ工房 代表 竹迫 和代
2	26	木	命のつながりを知る	性教育は命の教育	B a b y s・アイ母乳育児相談室 助産師 中村 明子
3	6・2	木	家族との関係を見つめる	おとなの人間関係が子どもに及ぼす影響	川崎幸クリニック 臨床心理士 稲富 正治
4	9	木	自分のことに目を向ける	わたしのいいところを見つけよう	ノンフィクションライター 北村 年子
5	16	木		ありのままの自分を受け入れ、自分をもっと好きになる	
6	23	木		子どもがいたからできたこと	元社会教育指導員 三星 とく子
7	30	木	今の子どもたちの現状を知る	学校での子どもたち	スクールソーシャルワーカー 小川 厚子
8	7・7	木		子どもたちが安心して過ごす場所	NPO法人フリースペースたまりば 理事長 西野 博之
9	14	木	自分を見つめる	これからの自分をイメージする	竹迫 和代

- 開設場所 幸市民館
- 対 象 関心のある方
- 保育内容 自由遊び
- 保 育 者 幸保育学習会

- 時 間 帯 10:00～12:00
- 参加者数 35人(男0人、女35人)
- 延べ人数 188人
- 保育参加者数 18人(男8人、女10人)

日吉 家庭・地域教育学級

タイトル：幼児と親の学級

主 題：幼児期の子育ての課題について考える

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・30	金	これまでの自分の子育てを振り返るとともに、今後の地域でいききとした子育てをしていくための仲間づくりを進める	オリエンテーション・保育説明会	職員 保育ボランティア
2	10・7	金		話し合おう、自分のこと子どものこと①自分を見つめなおす	参画はぐくみ工房 代表 竹迫 和代
3	14	金		話し合おう、自分のこと子どものこと②子育ての楽しさや悩みを出し合い、参加者同士の理解を深める	帝京大学文学部 教授 杉本 真理子
4	21	金			
5	28	金		子育てと食事① 子どもの成長に必要な栄養と食事を学ぶ	料理研究家 米井 智子
6	11・4	金		子育てと食事② 調理実習を通じて実際に作ってみる	
7	11	金		子どもと絵本の世界を考える 情感豊かな心を育てる絵本の魅力を学ぶ	幸えほんの会 留目 知春
8	19	土		ワールドカフェ日吉 パパも家族も市民館で学ぼう	NPO 法人ファザーリングジャパン 東 浩司
9	25	金		これからの自分をイメージしよう	竹迫 和代
10	12・2	金		学習のまとめ・交流会	職員 保育ボランティア

●開設場所 日吉分館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 1歳半～3歳未満の子を持つ保護者

●参加者数 18人(男4人、女14人)

●延べ人数 123人

●保育内容 自由遊び・お弁当

●保育参加者数 15人(男6人、女9人)

●保育者 ぽっぽ

中原 家庭・地域教育学級(1)

タイトル：地域が笑顔の場所となるために

主 題：発達障がいの子と共に歩む

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	6・6	月	今の「思い」に向き合い自分を客観的にみる	オリエンテーション・ワークショップ(私の「思い」・私のワンテーマ)	参画はぐくみ工房 代表 ファシリテーター 竹迫 和代 神奈川LD等発達障害児・者親の会「にじの会」 宮原 昌代
2	13	月	発達障がいの子に対する望ましい支援	感覚運動面から発達障がいの特性を理解し、障がいとの付き合い方を考える	こども家庭センター 作業療法士 塚崎 みゆき
3	27	月	地域の支援体制づくり	当事者からの発信・地域での実践例から学ぶ	障害者就労支援事業所ダンウェイ(株) 取締役社長 高橋 陽子
4	7・4	月	本人の「思い」を育み寄り添う支援体制	すべての人が生きやすい住みやすい地域をつくるための支援体制とは	早稲田大学大学院 准教授 臨床心理士 高橋 あつ子
5	7	木	誰もが住みやすい地域づくり	ワークショップ・当事者だからこそできること	竹迫 和代 宮原 昌代

●開設場所 中原市民館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 学校生活に支援が必要な子を持つ親

●参加者数 24人(男1人、女23人)

●延べ人数 89人

●保育内容 自由遊び

●保育参加者数 5人(男4人、女1人)

●保育者 ぽかぽか

中原 家庭・地域教育学級（2）

タイトル：自分らしい子育てって？

主 題：型紙のない自分らしい子育てを

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2・ 2	木	子どもの発達の特徴を知り、子育て中の自分を見つめ直し、自分らしい子育てについて考える	オリエンテーション、ワークショップ	保育ボランティア
2	9	木		子どもの発達の特徴を知る	あかねの虹保育園 園長 牧 裕子
3	16	木		子育て中の自分を見つめ直し、自分らしい子育てについて考える	臨床心理士 石堂 志津子
4	23	木		子育て先進国ニュージーランドの子育て支援について学ぶ	プレイセンター協会 スーパーバイザー 山前 真弓
5	3・ 1	木		ふりかえり、手作りおもちゃで遊ぼう	ふれあい子育て広場 アドバイザー 吉葉 清子

●開設場所 中原市民館

●時 間 帯 10:00～12:00

●対 象 区内在住の2歳児～未就学児の保護者、関心のある方

●参加者数 13人(男0人、女13人) ●延べ人数 57人

●保育内容 自由遊び

●保育参加者数 11人(男4人、女7人)

●保 育 者 ぽかぽか

高津 家庭・地域教育学級（1）

タイトル：新米ママ・パパと赤ちゃんのゆっくり子育て

主 題：初めての育児が家族や地域の協力を得て安心して穏やかに出来るようになる

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	6・ 9	木	受講者同士や保育者との交流	保育説明会・自己紹介	高津市民館登録保育ボランティア
2	16	木	絵本の読み聞かせが日常の習慣になることを目指す	絵本の読み聞かせ方や絵本を選ぶ視点を学ぶ	ぶつくばる 代表 北 素子
3	23	木	自分らしい「子育て観」をさぐる	育児書などの様々な情報、知識だけでなく自分の「子育て観」を確認し、それを受講者同士で共有する	参画はぐくみ工房 代表 竹迫 和代
4	7・ 2	土	父親向け 絵本について 母親向け 家族について	父親向け 絵本の効用を学ぶ 母親向け 家族をテーマにグループで話し合い 紙芝居を作る	北 素子 竹迫 和代
5	8	金	これまでの学習を振り返り仲間づくりを図る	受講者同士の交流	職員
6	16	土	パートナーと協力して育児に向かえるようになる	「安心して子育てできる地域」について仲間づくりや近所の協力の大切さについて考える	早稲田大学総合研究所 研究員 安部 芳絵

●開設場所 高津市民館

●時 間 帯 10:00～12:00

●対 象 生後1歳未満の第一子を子育て中の保護者とそのパートナー

●参加者数 33人(男14人、女19人) ●延べ人数 124人

●保育内容 6か月～1歳未満

●保育参加者数 14人(男7人、女7人)

●保 育 者 高津市民館登録保育ボランティア

高津 家庭・地域教育学級（2）

タイトル：私のための・・・ほっと☆できる時間

主 題：震災を通して気付いた絆の大切さ、地域で親たちが繋がるために

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	7・16	土	オリエンテーション	岡本太郎の芸術に触れながら、受講生同士の交流をはかる	岡本太郎美術館 学芸員
2	23	土	想いを言葉にしてほっとする①	日頃子育てをする中での、様々な思いをそれぞれが話し、改めて気付いた家族への想いをみんなで共有する	とよたま心の診療所 ソーシャルワーカー 辻野 恵子
3	8・6	土	エコクッキングを通じて親子で環境を考える	環境問題の講義 エコクッキング（親子）	東京ガス職員 エコクッキング指導者
4	9・3	土	想いを言葉にしてほっとする②	東日本大震災での支援活動（母子家庭・父子家庭支援）について知り、子育てを取り巻く社会制度について考える	NPO 法人しんふぁ支援協会 代表 原 貴紀
5	10	土	親として子どもや社会のためにできることを考える	3・11の震災は私たちの価値観にどんな変化をもたらしたのかを話し合い、ひとりではない想いを共有する	辻野 恵子
6	24	土	子どもを取り巻く環境について学ぶ	ケータイを正しく使うためには？ネットいじめの現実	(株)アビリティ代表取締役 田原 のり子

●開設場所 高津市民館 他

●時間帯 10:00～12:00

●対象 子育て中の親

●参加者数 9人（男0人、女9人）

●延べ人数 28人

●保育内容 自由遊び

●保育参加者数 2人（男0人、女2人）

●保育者 高津市民館保育ボランティア

高津 家庭・地域教育学級（3）

タイトル：輝いてママ もっと自分を好きになろう！

主 題：ゆとりのある子育て

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	3・1	木	時間管理	働いている母親の時間術	川崎市男女共同参画センター 事務局長 脇本 靖子
2	8	木	無駄のない料理	15分でできるおかず	料理研究家 神内 由里
3	22	木	身体の管理	家庭でできる身体管理	バレエインストラクター チャイルドボディセラピスト 平田 知絵里
4	29	木	金銭管理 子どもが自分の時間をどう過ごすか	自分の金銭感覚を知る 工作体験	ファイナンシャルプランナー 野々村 映子 絵画教室講師 鈴木 俊輔

●開設場所 高津市民館 他

●時間帯 10:00～12:00

●対象 子育て中の親と3歳～小学生の子

●参加者数 38人（男7人、女31人）

●延べ人数 75人

●保育内容 自由遊び

●保育参加者数 6人（男3人、女3人）

●保育者 高津市民館登録保育ボランティア

橘 家庭・地域教育学級（1）

タイトル：0歳からの子育て

主 題：子育てを支えあうための仲間作りと、自分たちにできること

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	6・7	火	はじめまして。 一緒に遊ぼう	オリエンテーション ①自己紹介ゲーム ②子どもと一緒に遊びながら、交流する	職員
2	14	火	誰かが、あなたたち を気遣っている	民生委員・児童委員、保育ボランティアグループ の人たちから、子育て支援のための様々な活動 を行っていることを聞く	橘第二地区民生委員・児童 委員協議会 小林 美和子 主任児童委員 小冷 静江 橘第三地区民生委員・児童 委員協議会 堅田 亮 保育ボランティアグループ 「たけのこ」 大槻 優子
3	21	火	高津区の子育て支援 はどうなっているのか	高津区の子育て支援策について知る。あわせて、 母子の健康に最も身近な保健福祉センターの取 り組みについても情報を得る	高津区役所こども支援室 担当係長 津田 多佳子 保健福祉センター保健福祉 サービス課 保健師 川原 由希子
4	28	火	近隣の公共施設を活 用する	こども文化センター・子育て支援センター・プラ ザ橘などの活動を知る。また、公園や他の施設 の活用法について情報交換する	子母口こども文化センター 和泉 君江・坪川 宏美
5	7・5	火	「子育て中だからこそ できること」を考える	親同士の仲間づくり、情報誌作り、ネットワー ク作りなど、子どもとともに様々な活動を広げてき た体験を聞く	子育て支えあいネットワー ク 満 河村 麻莉子・西嶋 麻衣
6	12	火	小さな一歩を踏み出 してみよう	昨年家庭・地域教育学級受講者から子育てグ ループを立ち上げた人たちや、フリースペース「子 育てひろば」の参加者からスタッフになった人た ちからその体験と思いを聞く	自主グループ・うしとらバン ビーノ 田中 美香・井上 みずか プラザ橘「子育てひろば」ス タッフ 永田 和子・萩野 真紀

●開設場所 橘分館

●時間帯 10:00～11:30

●対 象 橘地区在住の2010年4月2日～2011年4月1日生まれの子どもと親20組

●参加者数 18人(男0人、女18人) ●延べ人数 87人

●保育内容 自由遊び

●保育参加者数 18人(男8人、女10人)

●保 育 者 ナルク・川崎

橘 家庭・地域教育学級（2）

タイトル：自分らしい子育て—私の生、子どもたちの生

主 題：「生きる力」を食と性を手がかりに考える

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・13	木	参加の動機や問題意識を共有する	①オリエンテーション（自己紹介、講座の進め方） ②問題意識の共有、各自のテーマ設定 ③市民館保育活動について	参画はぐくみ工房 代表 竹迫 和代 保育ボランティアグループ たけのこ 成田 知穂
2	20	木	性について学ぶ	生と性①実践に向けて～子どもに性を話す理由ってなに？	「人間の性」教育研究協議会 安達 倭雅子
3	11・3	木	食について学ぶ	生と食①実践編～親子で農家を訪問しよう in 久末	農業者 森 架奈子 ぐらす・かわさき たちばな ブランチ 野仲 将生
4	10	木	食についての実践をふりかえる	生と食②まとめ～「たちばな農のあるまちづくり」 の実践に学ぼう	NPO 法人ぐらす・かわさき 事務局 田代 美香
5	12・1	木	性についての実践をふりかえる	生と性②実践ふりかえり～女の子の性、男の子の性	安達 倭雅子
6	8	木	学んだことを共有しよう	生と性③まとめ～セクシュアル・ライツは自分らしく生きる権利	
7	15	木	今後の地域での実践活動につなげる	講座のふりかえり それぞれの思いの整理と共有	職員

●開設場所 橘分館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 関心のある方

●参加者数 13人（男0人、女13人）

●延べ人数 76人

●保育内容 自由遊び

●保育参加者数 12人（男7人、女5人）

●保育者 たけのこ

橘 家庭・地域教育学級（3）

タイトル：小学生の子育て～子どもと向き合う大人とは

主 題：読書活動と相談活動を柱として考える

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2・9	木	オリエンテーション	プラザ橘の家庭・地域教育学級と今回の学級の 流れを説明します。 学級に参加した動機や、学級のテーマについて 話し合います	職員
2	16	木	子どもと向き合う大人とは	子どもの興味・関心の広がり、それに向き合い、 子どもの思いを受け止める大人の課題を考えます	武蔵野美術大学 講師 佐藤 明子
3	23	木	読書活動の経験から学ぶ	子どもが本の世界の中でどんなことに感動し、ど のように想像力を広げ、自分の世界を豊かにして いるのかを知り、子どもへの理解を深めます	私設ゆりがおか児童図書館 ゆりの子会 堀川 万記子・米倉 由布子
4	3・1	木	相談活動の経験から学ぶ	子どもが何につまづき、悩み、迷うのかという子 どもの姿について学び、それを乗り越えようとする 子どもにどう寄り添ったらよいか考えます	心理カウンセラー／子ども相 談室「モモの部屋」主宰 内田 良子
5	8	木	子どもとの関わりを捉え直す	子どもの思いを受け止める大人のあり方を考え、 自分が親として子どもと向き合うことができている かをふりかえります	佐藤 明子
6	15	木	ふりかえり	講座全体をふりかえりながら、「子どもと向き合う 大人」のあり方について、参加者同士で考え話 し合います	職員

●開設場所 橘分館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 関心のある方

●参加者数 15人（男0人、女15人）

●延べ人数 33人

宮前 家庭・地域教育学級（1）

タイトル：子育て入門教室

主 題：子と親が共に育ちあっていくことを考察します

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・19	木	仲間づくり／子育てのコツについて考える	オリエンテーション／学習者同士の交流を図る／子育てのコツについて考える	文京学院大学教授・同大学院教授 金子 智栄子
2	26	木	地域での繋がりを通して、育児を楽しむ	実際に行なわれている地域での活動を知る	みやまえ子育てフェスタ2011 企画委員長 森 理恵 ちいくれん 代表 花光 香寿 カンガルー宮前子育てネットワーク 代表 小西山 香菜子
3	2・2	木	子どもとのコミュニケーションの時間を大切に	人を育てる唄を通して子どもと向き合う（「わらべ」と「手遊び」を覚える）	まめっこママサロン 主宰 神谷 ひろ子
4	9	木	親と子と、ものづくりを通して、子どもとの向き合い方を考える	子どもの心と身体を育むおもちゃを作って遊ぼう	駒沢女子短期大学 准教授 菅原 順一
5	16	木	今までの子育てについてふまえた上で、これからの子育てを考える	学習のまとめ ふりかえり	金子 智栄子

●開設場所 宮前市民館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 未就学児までの保護者

●参加者数 11人（男0人、女11人）

●延べ人数 49人

●保育内容 自由遊び

●保育参加者数 12人（男7人、女5人）

●保育者 宮前市民館保育ボランティア

宮前 家庭・地域教育学級（2）

タイトル：みんな笑顔で子育てしようよ

主 題：子育てに疑問や不安を感じている親の悩みを解消するための学習や体験をする

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・15	土	自己紹介	オリエンテーション・自己紹介	菅生保育園 保育士 七海 珠美
2	22	土	子どもの心と体の成長	子どもの心と体の発達を知り親の対応を学ぶ	文京学院大学教授・同大学院教授 臨床心理士 金子 智栄子
3	29	土	子どもの健康を考える①	小児科医から見たこどもの発達	小児科医 山本 弘子
4	11・5	土	地域に出て自然の中で遊ぼう	遊びの達人と一緒に遊び、子どもとのふれあい方を学ぶ	親子で一緒に外遊びの会 久保 浩子 他
5	12	土	子育てとは？	これからの子育てをどうしていくべきか将来像を考えてみる	金子 智栄子
6	19	土	保護者の地域参加	地域のお母さん達が企画運営しているイベントに参加する	
7	26	土	子どもの健康を考える②	いざという時、あわてないための知識を得る	看護師 井原 貴重
8	12・3	土	子どもの育ち①	子育てはストレス？子どもを知り、自分を知る	NPO 法人ままとんキッズ 有北 郁子
9	17	土	食生活を見直そう	ちょっとした工夫でバランスの取れた食生活	管理栄養士 松本 鮎美

10	1・14	土	パパの育児参加	父親だからこそできる子育てとは	NPO 法人ファザーリングジャパン 東 浩司
11	22	日	子どもの育ち②	やっぱり気になる子どもの教育費	ファイナンシャルプランナー 當舎 緑
12	28	土	これからのことについて考える	学習のまとめ	職員

- 開設場所 宮前市民館 他
- 時 間 帯 10:00～12:00
- 対 象 3歳以上未就学児を持つ親
- 参加者数 6人(男0人、女6人)
- 延べ人数 48人
- 保育内容 自由遊び
- 保育参加者数 8人(男5人、女3人)
- 保 育 者 宮前市民館保育ボランティア

宮前 家庭・地域教育学級(3)

タイトル：子育て応援教室

主 題：子どもの育ちを学ぶ

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	8・31	水	はじめまして!こんにちは	講座の趣旨説明 オリエンテーション	職員
2	9・7	水	子どもの食事と栄養を学ぼう	年齢に適した栄養摂取について学ぶ 体調不良や病気の食事について学ぶ	栄養士 岩尾 美智代
3	14	水	子どもの育ちを学ぼう	身体の発達の特徴を学ぶ	心理学博士・臨床心理士 平沼 晶子
4	21	水		精神的な発達の特徴を学ぶ	
5	29	木	子どもの病気に対する心構えを学ぶ	かかりつけ医の重要性と受診心得を学ぶ 予防接種について学ぶ	聖マリアンナ医科大学病院 小児科 医師 小児アレルギー担当 松田 健志 予防接種担当 徳竹 忠臣
6	10・5	水	講座を通して感じたことを自分の子育てにあてはめて考えよう	講座を通して思ったことや考えたことを発表しよう	職員

- 開設場所 宮前区役所向丘出張所・宮前市民館
- 時 間 帯 10:00～12:00
- 対 象 第1子に乳幼児を持つ保護者
- 参加者数 10人(男0人、女10人)
- 延べ人数 46人
- 保育内容 自由遊び
- 保育参加者数 10人(男6人、女4人)
- 保 育 者 宮前市民館保育ボランティア

菅生 家庭・地域教育学級（1）

タイトル：初めての子育て

主 題：子育てを仲間と一緒に楽しく

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・14	水	初めての孤立して不安な子育てを親子同室で友達を作ること で解消を図る	地域で子育て	元自主保育代表 佐藤 久美
2	28	水		子育てに不安はありませんか	ジャーナリスト 青木 悦
3	10・8	土		パパも一緒に参加しよう① 赤ちゃんと遊ぼう	職員
4	12	水		我が家の子育て	職員
5	26	水		これからの子育て・自分育て	青木 悦
6	11・9	水		親子でヨガレッチ（ヨガ+ストレッチ）	ヨガインストラクター 松村 郁子
7	12	土		パパも一緒に参加しよう② 赤ちゃんと遊ぼう	職員
8	12・15	木		これまでの振り返って	あおぞら保育「つくしんこ」 主宰 文 多恵

●開設場所 菅生分館

●時間帯 10:00～12:00

●対 象 1歳6ヶ月以下の子のいる方

●参加者数 14人（男4人、女10人）

●延べ人数 63人

菅生 家庭・地域教育学級（2）

タイトル：子育てライフを楽しむ

主 題：子育てライフを充実させるための学習

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・22	木	初めまして、お互いを知る	アイスブレイクをし学習の意義を学ぶ	職員
2	29	木	子どもの成長をスクラップブック	自分の子どもを紹介しながらちょっと子どもの自慢話。長所をもっと伸ばすため	アート&クラフト DUO 認定 講師 小坂 真砂美
3	10・6	木	栄養のバランスのとれた食事づくり	近い将来、子どもと一緒にクッキング。調理をしながら友だち作り	宮前区食生活改善推進員 小田島 桂子 他
4	17	月	子どもと一緒に手作りおもちゃ	子どもの成長と発達について話を聞き、年齢にあったおもちゃを作り遊ぶ	駒沢短期大学 准教授 菅原 順一
5	20	木	子どもの成長 模倣から自立へ	子どもの成長や子どもへの関わり方を考え専門家からのアドバイス	南菅生保育園 園長 津覇 洋子
6	27	木	子どもと一緒にティパーティー	講座を振り返ってこれからの子育てを前向きに考える	職員

●開設場所 菅生分館

●時間帯 10:00～12:00

●対 象 幼児を持つ親

●参加者数 11人（男0人、女11人）

●延べ人数 49人

●保育内容 自由遊び

●保育参加者数 11人（男7人、女4人）

●保育者 菅生分館登録ボランティア

菅生 家庭・地域教育学級（3）

タイトル：子どもの居場所・そして巣立ちへ

主 題：ありのままの子どもを理解し、自律を応援する

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・25	火	依存と自立が共存し不安定な思春期の子の心に寄り添い、これからの自立のために家庭や地域でどのように関わり応援していくかを学ぶ	子どもを取り巻く現状と具体的な事例から、大人がどう寄り添うか考える	子どもシェルターてんぼ 東 玲子
2	11・8	火		子どもがより安心して過ごせる家庭や地域のつながりを考える	菅生・蔵敷子ども文化センター総括館長 針山 直幸
3	15	火		自尊感情を育むために親子のコミュニケーションのあり方を再確認する	ジャーナリスト 北村 年子
4	23	水		家族で一緒に焼製作りを楽しむ	父の会 パワーズ
5	1・17	火		子どもが自ら考え判断する力をつけるために親としてどう向き合うか考える	ジャーナリスト 青木 悦

●開設場所 菅生分館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 思春期の子を持つ親 関心のある方

●参加者数 8人(男0人、女8人)

●延べ人数 36人

多摩 家庭・地域教育学級（1）

タイトル：「みんな違うけど、みんなで子育て」

主 題：子どももママも仲間をつくって子育てしよう！

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・13	木	現代の子育て環境は、サロンのようにその場だけの関わりを作れる場所は多くなっているが、日常的にいっしょに遊んだり話したり、預けあったりする関係作りを応援する場がなくなっている。小さい集団での子育てをコーディネートする講座が必要である	オリエンテーション 仲間になろう！	多摩区でプレイパークをやっちゃおう会 職員
2	20	木		遊びの達人になろう1 公園にいったみよう！	多摩区でプレイパークをやっちゃおう会
3	27	木		子どもにとって集団に入るとはどういうことか	風の谷ようちえん 園長 天野 優子
4	11・10	木		遊びの達人になろう2 プレイパークってどんなところ？	プレイリーダー 嶋村 仁志
5	13	日		遊びの達人になろう3 実際に体験してみよう！	
6	17	木		知ろう！話そう！いろいろな子育て	自主グループ代表 子育てサークル代表
7	24	木		いままでを振り返りこれからの活動について話し合う	職員

●開設場所 多摩市民館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 未就学児の保護者

●参加者数 20人(男0人、女20人)

●延べ人数 99人

●保育内容 自由遊び

●保育参加者数 22人(男12人、女10人)

●保育者 多摩保育グループ

多摩 家庭・地域教育学級（2）

タイトル：思春期の子どもと家族とわたし

主 題：自分自身と家族を見つめなおしてみよう

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・11	金	思春期の子どもについての悩みについて考える	思春期の子育て環境と子育ての悩みについて考える	NPO 法人神奈川スクールカウンセラー協会 理事長 小見 祐子
2	17	木		「ひきこもり」について考える	NPO 法人ユースポート横濱 職員 岡本 圭太
3	24	木		自尊感情について学び、自分と家族について考える	青山学院大学 非常勤講師 曾根 美恵
4	12・1	木		家族との接し方について学ぶ	アサーティブジャパン 事務局長 牛島 のり子
5	8	木		家族と自分を見つめなおす	小見 祐子

●開設場所 多摩市民館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 思春期の子どもを持つ親と家族

●参加者数 33人(男0人、女33人) ●延べ人数 110人

麻生 家庭・地域教育学級

タイトル：HAPPY! ママライフ～2才からの子育て10ステップ

主 題：子育てについて専門家からアドバイスをもらい、仲間づくりを支援する

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・10	火	参加者を知る、子どもが保育に慣れる	オリエンテーション 保育説明会	保育ボランティア「ジャンケンポン」メンバー 職員
2	17	火		みんなで作ろう!遊びの場～ムーブメントで地域づくり	和光大学 准教授 大橋 さつき 和光大学 学生
3	24	火	子どもとうまくコミュニケーションをとる	笑顔いっぱいの子育てを	スマイルワン代表 笑顔セラピスト 大槻 笑子
4	31	火		子どもとうまく話せない人のコミュニケーション	臨床心理士 石井 栄子
5	6・7	火	身近なもので楽しむことを知る	身近な材料でおもちゃ作り	白山保育園 保育士 鈴木 幸世
6	14	火	いざという時に備える	家庭の危機管理～AEDの使い方を学ぶ	麻生消防署 職員
7	21	火	子育ての悩みを共有する	子育てのイライラ・モヤモヤ、どーしてこうなっちゃうの	参画はぐくみ工房 代表 竹迫 和代
8	28	火	絵本から身近な自然を発見する	子どもの心を育む絵本	ナチュラルリスト 高柳 芳恵
9	7・5	火	私らしく生きる	みんなで話そう、HAPPYになるママライフ	竹迫 和代
10	12	火		教えて!助けて!先輩ママ	親業インストラクター 松野 菜穂子 「いろはにこんぺいとう」メンバー

●開設場所 麻生市民館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 2～4歳の子どもがいる親

●参加者数 25人(男0人、女25人)

●延べ人数 208人

●保育内容 自由遊び

●保育参加者数 21人(男12人、女9人)

●保育者 ジャンケンポン

岡上 家庭・地域教育学級

タイトル：地域で楽しく！とも育ちV

主 題：親、子ども、地域がともに学び育ち合う関係づくりを考える

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・16	金	お互いを知り、交流し学級を理解する。親子で身体と心を遊ばせる。「とも育ち」を学び子ども、親、地域がお互いに育ちあう現場から「とも育ち」これから育って行く」これからの考える	オリエンテーション	保育ボランティアグループ ジャンケンポン 職員
2	30	金		親子で一緒にふれあい遊び	親子あそび研究家・表現教育インストラクター 篠 秀夫
3	10・11	火		身近な場所を散歩しながら広がる豊かな自然を知って子どもの心を感じる	ナチュラリスト 高柳 芳恵
4	18	火		子育てのストレスや不安を出し合い今の私を見つめる	参画はぐくみ工房 代表 竹迫 和代
5	25	火		意見を出し合いながら伸びやかに私らしく生きられる希望を見つける	
6	11・4	金		みんなで岡上分館菜園の収穫をし、秋の大地の恵みを味わう	職員
7	11	金		子どもの健やかな心をはぐくむ絵本とのかかわり方や大切さを知る	和光大学 准教授 林 浩子
8	15	火		多くの人に関わってもらう「子育て」「自分育ち」	すぎのこ保育園 園長 川名 初代
9	29	火		「とも育ちV」を終えて	ジャンケンポン 職員

●開設場所 岡上分館 他

●対 象 2歳から就学前の保護者

●参加者数 13人(男0人、女13人)

●保育内容 自由あそび お散歩

●保 育 者 ジャンケンポン

●時 間 帯 10:00 ～ 12:00

●延べ人数 78人

●保育参加者数 14人(男6人、女8人)

Ⅲ 2 (2) 市民館保育活動

施設名	学級名	回数	子どもの参加者数	対象年齢	延べ人数	保育者
教文	識字学習活動	39	9人	2歳～未就学児	70人	教育文化会館登録ボランティア
	家庭・地域教育学級(1)	5	11人		36人	ポピンズ
	家庭・地域教育学級(2)	4	12人		31人	
	市民自主企画事業 (Nobody's Perfect)	7	12人		62人	
大師	家庭・地域教育学級	6	6人	2歳～未就学児	30人	クローバー
	家庭教育支援講座	1	4人	2歳～未就学児	4人	
	保育ボランティア研修	5	4人	2歳～未就学児	18人	
田島	市民自主学級(ぴよぴよ)	6	19人	0歳～2歳児	66人	らんたん
幸	家庭・地域教育学級	9	18人	2歳～未就学児	91人	幸保育学習会
	識字学習活動	35	19人	1歳～未就学児	221人	キャンディ
	市民自主学級 おひさまクラブ2011	12	26人	2歳～未就学児	232人	幸保育学習会
	平和・人権学習(3)	3	4人		11人	
	男女平等推進学習	8	7人		33人	
日吉	家庭・地域教育学級	10	15人	1歳半～2歳11カ月	109人	保育ボランティア ぽっぽ
	市民自主企画事業 (日吉ふれあい国際交流サロン)	3	4人	2歳～未就学児	10人	
	市民エンパワーメント研修	1	2人	3歳～未就学児	2人	
中原	男女平等推進学習	9	2人	2歳～未就園児	9人	ぽかぽかの会
	家庭・地域教育学級(1)	5	5人	2歳～未就園児	18人	
	家庭・地域教育学級(2)	5	11人	2歳～未就園児	49人	
	識字学習活動	34	8人	1歳半～未就園児	101人	どんぐりの会
	市民自主学級 (子ども大好き私も大好き)	10	16人	2～3歳児	141人	にじの会
	市民自主学級 (パパ塾)	3	5人	2歳～未就園児	6人	高津市民館登録 ボランティア
	市民自主学級 (子育てストレスケア)	5	12人	2歳～未就園児	30人	ナルク川崎
	市民自主企画事業 (食育・親子料理教室)	3	4人	2～5歳児	4人	にじの会
高津	識字学習活動	34	23人	1歳～4歳	222人	登録保育ボランティア
	家庭・地域教育学級Ⅰ	4	14人	6ヶ月～11ヶ月	48人	
	家庭・地域教育学級Ⅱ	4	2人	2歳～5歳	5人	
	家庭・地域教育学級Ⅲ	4	6人	0歳～3歳	11人	
橘	家庭・地域教育学級(1)	6	18人	0歳	87人	ナルク・川崎
	家庭・地域教育学級(2)	6	12人	0歳～未就学児	62人	たけのこ
	保育ボランティア研修	6	8人	1歳～未就学児	37人	ナルク・川崎
	市民自主学級 (ママ・カフェ)	5	12人	2歳～未就学児	47人	たけのこ
	市民自主学級 子どもの成長をみつめよう	6	8人	2歳～未就学児	44人	ナルク・川崎

宮前	家庭・地域教育学級 (子育て応援教室)	6	10人	1歳半～未就学児	44人	宮前市民館 保育ボランティア
	市民自主学級 (発達障がいと特別支援教育3)	5	2人	1歳半～未就学児	10人	
	宮前日本語学級	36	24人	首がすわって～未就学児	227人	
	家庭・地域教育学級 (みんな笑顔で子育てしようよ)	12	8人	1歳半～未就学児	48人	
	家庭・地域教育学級 (子育て入門教室)	5	12人	1歳半～未就学児	51人	
	市民エンパワーメント養成講座	7	3人	首がすわって～未就学児	25人	
菅生	家庭・地域教育学級(1)	8	14人	乳幼児 (首が据わっていること)	63人	登録ボランティア
	家庭・地域教育学級(2)	6	11人		49人	
	市民自主学級 (より豊かに人とつながっていくために)	6	7人		40人	
多摩	識字学習活動	35	17人	1歳半～未就学児	172人	多摩保育グループ
	家庭・地域(1) (みんな違うけど、みんな子育て)	5	22人	1歳半～3歳	99人	
	市民自主学級 (たま親♥子学級)	7	18人	2歳～3歳	79人	
	市民自主学級 (子育て期の女性の心と身体を考える)	5	20人	1歳半～未就学児	65人	
	たまたま子育てまつり講演会	1	4人	2歳～未就学児	4人	
	家庭教育支援講座	1	15人	2歳～未就学児	15人	
麻生	識字学習活動	33	8人	1歳～3歳	84人	ジャンケンボン
	家庭・地域教育学級	10	21人	2歳～3歳	176人	
	男女平等推進学習	7	7人	1歳～就学前	35人	
	市民自主企画事業 (せっけんから始めよう!エコライフ)	3	4人	1歳～就学前	8人	
岡上	家庭・地域教育学級	9	14人	2歳～未就学児	78人	ジャンケンボン

Ⅲ 2 (3) 保育ボランティア研修

大師 保育ボランティア研修

主 題：保育ボランティア入門研修「子どもと楽しく安全に遊ぶためには」

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・19	木	講座の趣旨を正しく理解し、保育ボランティアを子どもも保育者も楽しく安全に行う方法を学ぶ。また市民館保育ボランティアの方針、あり方等を理解し、活動の支援をしていく	オリエンテーション 市民館保育の流れを学ぶ	保育グループ「クローバー」 職員
				災害時・非常時の対応やケガ等の応急処置を学ぶ	臨港消防署 藤崎出張所 所長 浅里 朋己
2	26	木		ボランティアとは	共育ひろば 主宰 牧岡 英夫
3	2・2	木		子どもと遊べるおもちゃを作る	東京おもちゃ美術館 おもちゃコンサルタント 荻須 洋子
4	9	木		子どもの心理と心身の成長を学ぶ	元公立保育園園長 保育士 田母神 良子
5	16	木	市民館保育ボランティアとは	保育グループ「クローバー」 職員	

●開設場所 大師分館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 関心のある18歳以上の方

●参加者数 17人(男0人、女17人)

幸 保育ボランティア入門講座

主 題：地域で支え合える子育てをめざして

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	6・7	火	講座のねらいを理解する	オリエンテーション・自己紹介	職員
			市民館保育活動及び保育ボランティアの役割を理解する	市民館保育って、何？ 保育ボランティアって、何？	職員 「幸保育学習会」メンバー 「キャンディ」メンバー 「ぼっぼ」メンバー
2	14	火	保育者としての心構えと子どもや保護者との接し方を学ぶ	子どもたちが安心して遊ぶことのできる場をつくらう！	元公立保育園園長 保育士 田母神 良子
3	21	火	子どもの安全に関する知識等を習得する	少し気になる子どもへの対応を学ぶ	臨床心理士 山田 純子
4	28	火	子どもにとっての体験の大切さを学び、いま、なぜ保育が必要とされているかを考え、今後の活動につなげる	いざという時のために	幸消防署 職員
5	7・5	火	子どもにとっての体験の大切さを学び、いま、なぜ保育が必要とされているかを考え、今後の活動につなげる	地域で支え合う子育てとは	あおぞら保育「つくしんこ」 主宰 文 多恵
				地域で子どもが育つとは まとめ	

●開設場所 幸市民館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 区内在住・在勤・在学の15歳以上の関心のある方

●参加者数 9人(男0人、女9人)

●延べ人数 41人

高津 保育ボランティア研修

主 題：保育ボランティアスキルアップ研修

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・ 1	火	子どもと過ごす楽しい時間①	0～3歳児の成長の特徴について 手遊び・歌遊びを学ぶ	地域子育て支援センター ちとせ 保育士 柳澤 智子
2	12・ 9	金	子どもと過ごす安心な時間	保育中の緊急対応や手当の基本	日本赤十字社 幼児安全法指導員
3	1・ 27	金	子どもと過ごす楽しい時間②	動く折り紙、遊べる折り紙等を学ぶ	折り紙作家 宮島 登
4	2・ 10	金	ボランティア活動をより理解する	人に関わるボランティア活動をするうえで大切な視点を学ぶ	共育ひろば 主宰 牧岡 英夫
5	3・ 15	木	活動者同士の仲間づくり	今までの学級を振り返り、活動者同士尊重して子育て支援に関わることができるようになる	早稲田大学総合研究所 研究員 安部 芳絵

●時 間 帯 10:00～12:00

●対 象 関心のある方

●参加者数 21人(男0人、女21人)

●延べ人数 53人

橘 保育ボランティア研修

主 題：つなぐ、つながる、支え合う～あなたも保育ボランティアに

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・ 12	木	保育ボランティアが孤立した子育てを予防し地域で支え合う基盤となることを知り、子どもに対する姿勢や救急処置、実践的な知識を学ぶとともに、保育ボランティアグループを運営し家庭や地域で何ができるかを自ら考える力量を育てる	子どもを保育するということ～私の経験から【公開講座】	「りんごの木」主宰 柴田 愛子
2	19	木		オリエンテーション 自己紹介、講座の進め方 保育ボランティアとは	(公財)かわさき市民活動センター 三星 とく子
3	26	木		子どもの救急処置①	高津消防署救急係長 狩野 照美
4	6・ 2	木		子どもの救急処置②	
5	9	木		プラザ橘子育てひろば【実践編】	子育てひろばボランティア
6	16	木		講座のふりかえり 今後の活動に向けて	あおぞら保育「つくしんこ」 主宰 文 多恵

●開設場所 橘分館

●時 間 帯 10:00～12:00

●対 象 関心のある方

●参加者数 22人(男0人、女22人)

●延べ人数 91人

宮前 保育ボランティア研修

主 題：保育ボランティア研修「子育て応援し隊」

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・ 8	火	オリエンテーション	講座の趣旨説明 自己紹介	つくしんこ主宰 文 多恵
2	15	火	子育て経験を地域で活かそう	地域の大人が子育てに関わることの意義を学ぶ	
3	22	火	子どもの育つ瞬間に立ち会おう	生き生きとした子ども像を探り、「育っていく力」と出会う喜びを知る	
4	29	火	今の子育て・昔の子育て	いまどきの保護者の気持ちと子どもを知る	元川崎市立幼稚園教諭 宮前図書館 職員 吉岡 久美
5	12・ 6	火	実践してみよう活動のすすめ	保育ボランティアについて知る	文 多恵

●開設場所 宮前市民館 ●時 間 帯 13:30 ～ 15:30

●対 象 地域でのボランティア活動に関心のある方

●参加者数 7人(男1人、女6人) ●延べ人数 28人

麻生 保育ボランティア講座

主 題：保育ボランティア向上研修

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	7・ 22	金	普段の活動のふりかえりと役割の再確認	保育ボランティアの資質向上ワーク 保育事例別、対処の仕方	臨床心理士 石井 栄子
2	8・ 22	月	保育中の災害時対応を学ぶ	【公開講座】家庭・地域での防災対策 館内で保育時の避難訓練	防災ネットワークプラン 代表 井上 浩一
3	30	火	麻生区の子育て支援の現状を知る	子育て支援の現状を把握し、保育ボランティアの活動の発展性を考える	石井 栄子
4	9・ 6	火	障がいのある子との接し方を理解	障がいのあるお子さんを持つ母親グループの寸劇とお話	柿Pキャラバン隊
5	26	月	人間性を育てる学びを習得	ピアノ演奏に合わせてワーク。ふれあい遊びの実習を通して情操教育を学ぶ	作曲家 小宮路 敏

●開設場所 麻生市民館 ●時 間 帯 10:00 ～ 12:00

●対 象 保育活動に関わっている方 ●参加者数 32人(男0人、女32人) 8/22(51人)

●延べ人数 143人

Ⅲ 3 (1) 区家庭教育推進協議会

川崎区家庭教育推進協議会

(◎は会長、○は副会長)

氏名	所属	氏名	所属
◎河 岸 与志夫 ○保 科 達 夫 野 口 恵 子	川崎区PTA協議会 会長 教育文化会館 館長 川崎区地域教育会議子ども会議 担当部会 副部会長	池 田 理 抄 橋 本 英 之	川崎区PTA協議会 会計 小田小学校 校長

●開催日 8月2日、12月13日、3月13日

幸区家庭教育推進協議会

(◎は会長、○は副会長)

氏名	所属	氏名	所属
◎齋 藤 茂 ○保 崎 万 里 榎 本 伊 助	幸区PTA協議会 会長 夢見ヶ崎小学校 校長 幸区PTA協議会 副会長	前 田 賀奈子 伊 藤 健 中 村 高 明	幸区PTA協議会 会計 主任児童委員 幸区地域教育会議委員 幸市民館 館長

●開催日 6月27日、10月24日、3月8日

中原区家庭教育推進協議会

(◎は会長、○は副会長)

氏名	所属	氏名	所属
◎中 村 卓 史 ○渡 邊 茂	中原区PTA協議会 会長 東住吉小学校 校長	塩 崎 洋 子	中原区PTA協議会 副会長

●開催日 5月24日、10月14日、3月13日

高津区家庭教育推進協議会

(◎は会長、○は副会長)

氏名	所属	氏名	所属
◎漆 原 将 毅 ○滝 沢 照 子 宇佐美 和 則	高津区PTA協議会 会長 高津区PTA協議会 副会長 西高津中学校 校長	永 田 輝 雄 金 俊一郎 昼 間 豊	久末小学校 校長 高津区地域教育会議 議長 高津市民館 館長

●開催日 7月8日、3月8日

宮前区家庭教育推進協議会

(◎は会長、○は副会長)

氏名	所属	氏名	所属
◎齋 藤 淳 ○石 川 政 美 松 井 隆 夫	宮前区PTA協議会 会長 宮前区PTA協議会 書記 菅生中学校 校長	柴 寄 淳 卯 木 昌 史 岩 瀬 正 人	菅生小学校 校長 南原小学校 校長 宮前市民館 館長

●開催日 6月14日、3月6日

多摩区家庭教育推進協議会

(◎は会長、○は副会長)

氏名	所属	氏名	所属
◎田 中 千恵子 ○井 上 なおみ	多摩区PTA協議会 副会長 登戸小学校 校長	城 田 晶 子 川 口 キ ン 夏 井 美 幸	多摩区PTA協議会 成人委員会委員長 多摩区地域教育会議 多摩市民館 館長

●開催日 6月18日、10月18日、2月29日

麻生区家庭教育推進協議会

(◎は会長、○は副会長)

氏名	所属	氏名	所属
◎名古屋 洋 一 ○橋 本 文 恵 山 田 安 之	麻生区PTA協議会 会長 真福寺小学校 校長 麻生区地域教育会議 副議長	宮 崎 瑞 穂 牧 野 梨 恵 入 口 茂	麻生区PTA協議会 副会長 麻生区PTA協議会 副会長 麻生市民館 館長

●開催日 7月7日、11月10日、3月8日

Ⅲ 3 (2) P T A家庭教育学級講師派遣

教育文化会館

※参加者数 () 内は男性

実施団体	開設期間	回数 参加者数	テーマ	学習内容
殿町小学校 PTA	7・8 ~ 11・8	3 66 (0)	親子のコミュニケーションと協力し合える家庭	家庭でできる省エネ / 好き嫌いをなくすレシピのヒント / どうする子どもの反抗期
四谷小学校 PTA	9・28 ~ 2・9	2 44 (0)	家族の健康と安全	子どもの成長について / 家庭での安全対策について
東門前小学校 PTA	7・6 ~ 1・24	3 110 (2)	明日に向かう子どもたちへ	災害時における、子どもがいる家庭の防災対策 / 年齢別による子どもの心理 / 家庭における性教育
大師小学校 PTA	7・8 ~ 11・24	3 57 (0)	子どもの笑顔を守るために親としてできること	地震発生時の家庭での対応 / 子どもの成長と姿勢について / 家庭での環境に配慮した生活方法
川中島小学校 PTA	6・27 ~ 1・17	3 78 (2)	子どもが笑顔で過ごせるためにできること	CAP / 子どものお小遣いと教育費プラン / 子どもが笑顔で過ごせるためにできること
藤崎小学校 PTA	7・14 ~ 1・26	2 48 (0)	育てようやさしい心～今、手を携えてできる事	「いい子」とは? しつけと子どもとの関わり / CAP
さくら小学校 PTA	6・14 ~ 10・25	3 69 (1)	家族の健康と安全について考え学ぼう	緊急時に子どもの命を守ろう / 家庭でできる地震のときの安全対策 / 子どもの性について考える
渡田小学校 PTA	10・6 ~ 1・21	2 42 (0)	心も体も健やかに	災害に対する備えや知識 / 改めて感じる本の大切さ、言葉の重み
東小田小学校 PTA	7・5 ~ 12・17	3 58 (2)	子どもと一緒に成長していく	暑さを乗り切れる体力づくり / 反抗期に寄り添う / お小遣いからお金のお金を大切さを学ぶ
小田小学校 PTA	12・17	1 39 (1)	生きていく中で大切なことを学び、伝える	お小遣いからお金のお金を大切さを学ぶ
浅田小学校 PTA	6・30 ~ 12・17	3 109 (5)	子どもと共に親も心身共に成長しよう	ドナルドの食育教室 / 正しい洗髪を親子で考える / みんなで考えようお金の大切さ
東大島小学校 PTA	6・21 ~ 10・18	2 51 (0)	子どもを守る	地震だ! 家庭は? 子どもは? その時どうする? / いじめ問題について考える
向小学校 PTA	10・18 ~ 1・20	2 43 (1)	子どものこころケア	子どものいじめ / CAP
田島小学校 PTA	6・20 ~ 12・2	3 50 (0)	親子で学ぶ子どもの安全と健やかな成長	子どもが安全にケイタイを使用できるように / 親子で正しい姿勢イキイキ家族 / 朝食の大切さ
新町小学校 PTA	8・26 ~ 1・23	3 55 (2)	子どもがきらきら輝くために、親ができること	CAP / いじめは子どもからの SOS / 親の役割～親の立場で子どもをどう見ていくか
旭町小学校 PTA	9・30 ~ 11・29	2 46 (1)	子どもの安全な生活を考える	CAP / 川崎市防災出前講座
宮前小学校 PTA	5・25 ~ 11・4	3 136 (10)	子どもの安全ってな～に	CAP / 家庭でのお小遣い、教育について / 子育てを楽しむコツは?
川崎小学校 PTA	6・28 ~ 11・14	2 72 (0)	子どもの笑顔の為に安全な生活を学ぶ	家庭でできる省エネ・エコ生活 / CAP
京町小学校 PTA	9・13 ~ 2・9	3 75 (3)	地域と連携し安全に毎日を送るために	災害に備え身近なことからはじめよう / 嗜好品による意外な効用 / 子どもの安全を守る為に
田島養護学校 PTA	7・15 ~ 2・3	4 97 (0)	もっと知り学ぼう! 学校の事、子どもの事	進路学習会 / 制度学習会 / 食育、田島養護の給食支援について / 子どもの成長と社会生活

幸市民館

※参加者数（ ）内は男性

実施団体	開設期間	回数 参加者数	テーマ	学習内容
西御幸小学校 PTA	6・22 ～ 12・8	3 111 (1)	親から子へと伝えよう～ 心と身体のケア～	子どもたちの心と体のバランスを整えるために／思春期に教える性教育／食の大切さ
戸手小学校 PTA	7・7 ～ 2・10	3 106 (1)	守ろう! 親として～こどもの 心と体～	救命救急講座／子どもたちに伝える命の大切さと性教育／親子のコミュニケーション
古川小学校 PTA	6・21 ～ 12・10	3 82 (18)	様々なストレスから守ろう! 子ども達の心と体	子どもを暴力から守るために大人としてできること／子どものストレスと親の関わり
東小倉小学校 PTA	6・5 ～ 10・4	3 133 (9)	子どもの安全を考えよう	子どもを暴力から守るために大人としてできること／子どもの金銭教育について
古市場小学校 PTA	6・16 ～ 2・14	4 175 (55)	今を見直し、より良い未来へ	いざというときにあわてないための防災知識を学ぶ／栄養バランスの大切さを学ぶ
下河原小学校 PTA	6・14 ～ 11・10	2 50 (3)	親子で考える食と身体	子どもの安全な食育について／食事作りから考える子どもの健康

中原市民館

※参加者数（ ）内は男性

実施団体	開設期間	回数 参加者数	テーマ	学習内容
平間小学校 PTA	6・10 ～ 11・11	3 83 (2)	心と身体のバランスの大切さについて学ぶ	子どもの生きる力を育むコミュニケーションを学ぶ／親と子のストレスの種類と付き合い方他
玉川小学校 PTA	7・4 ～ 2・8	3 84 (2)	子どもの健やかな成長について学ぶ	放射能による食品および環境への影響／最新の食育事情と子どもの食の自立について学ぶ 他
下沼部小学校 PTA	6・21 ～ 11・8	3 188 (0)	助合い心をついに、育もう 豊かな心明るい笑顔	親から子へ伝えるお金の大切さ／救命救急法／ぬまべっ子育て
荻宿小学校 PTA	6・24 ～ 1・13	3 91 (0)	子育ての悩みを軽減し、 等身大の子育てを	五感を妨げない子育てとは／成長期の子どもの身体をつくる食育講座
東住吉小学校 PTA	7・15 ～ 1・23	4 116 (0)	親子で健やかに成長し、 輝く毎日を	現代の子育て事情や自分なりの子育てを考える／家庭でできる親子の健康管理について学ぶ 他
井田小学校 PTA	6・27 ～ 2・20	4 161 (0)	親子で知識を深めよう、 防災・心と身体	ショッキングな出来事に対する心のケア、防災出前講座、IT講習会 他
今井小学校 PTA	7・7 ～ 2・21	5 200 (3)	自分で守ろう、地域で守ろう、 子どもの安全	CAP 大人のワークショップ／地域の防災、熱中症／災害時の対応について
上丸子小学校 PTA	6・3 ～ 9・5	3 164 (0)	子どもを取り巻く環境を豊かにするために	お金の大切さをどう伝えるか／雲や台風の仕組みを学び、お天気から環境を考える 他
西丸子小学校 PTA	6・21 ～ 12・6	3 109 (1)	親と子の笑顔あふれる明日のために	正しい姿勢や呼吸で自己コントロール力をつける／色の力で子育ての不安を軽減し住環境を考える
中原小学校 PTA	6・15 ～ 2・18	4 148 (2)	守ろう! 子どもたちの笑顔と未来	救命救急法／食育講座／腸の健康と規則正しい生活の大切さ
宮内小学校 PTA	6・24 ～ 2・7	4 224 (4)	安心できる環境づくり	命の大切さを伝え、我が子に性が語れる親になる／CAP 大人のワークショップ 他
大戸小学校 PTA	6・24 ～ 1・19	3 191 (2)	子どもを守るために、大人が 持ちたい知識	CAP 大人のワークショップ／物やお金を大切に育てる子どもの育て方／身近な防災対策
下小田中小学校 PTA	6・17 ～ 10・27	2 104 (0)	健やかな心と身体を育むために	CAP 大人のワークショップ／食育講座
新城小学校 PTA	6・27 ～ 1・27	3 119 (0)	親子で元気な心身を育もう	身体のリラックス法を学び、健康的な生活・育児法を得る／食育講座 他
大谷戸小学校 PTA	6・27 ～ 12・9	3 156 (2)	子どもの成長と大人の関わりについて	思春期の子どもの気持ち、子どもの話をどう聞いたらいいのか／救命救急法 他
聾学校 PTA	2・17 ～ 2・17	1 36 (5)	聴覚障害の理解を深める	子どもの心身の発達に合わせた関わり方

高津市民館

※参加者数（ ）内は男性

実施団体	開設期間	回数 参加者数	テーマ	学習内容
子母口小学校 PTA	6・22 ～ 2・6	4 150 (0)	人を思いやる心、生き抜く力	防災ワークショップ/性教育学級 他
橘小学校 PTA	6・14 ～ 1・26	5 378 (25)	子ども達のために、今私達ができること	普通救命救急法 / 保健室から見た子ども達他
末長小学校 PTA	7・8 ～ 2・7	4 144 (1)	東日本大震災からの教訓を親子で考える	地域とともに考える危機管理 / 災害時における対策と対処法 他
新作小学校 PTA	6・30 ～ 2・10	3 125 (1)	子ども達の未来のために	聞き上手、話し上手になろう / 子どもの生きる力を育てるためにできる事 他
久本小学校 PTA	6・30 ～ 12・13	4 230 (4)	子どもを守る為に親が知っておきたい事、出来る事	防災出前講座 / 影絵劇 / 子どもの成長をサポートする手法 他
坂戸小学校 PTA	6・16 ～ 2・2	3 123 (2)	知って向上!安心!明日の笑顔へ	映像作成を通じて子ども達が持つ様々な可能性 / 災害時の対処法 他
高津小学校 PTA	7・11 ～ 12・1	3 98 (0)	親と子、地域を結ぶコミュニケーションとは	災害に強い家庭づくり / 親と子、そして地域のコミュニケーション 他
久末小学校 PTA	7・12 ～ 2・2	3 78 (2)	絆～心と心の結びつき～	子どもと先生、子ども同士の絆とは? / 子どもと地域の絆とは? 子どもの居場所について 他
下作延小学校 PTA	7・5 ～ 12・1	3 120 (0)	「親と子の今」について	子どものよりよい成長のために親ができる事 / 関わり方、子どもを伸ばす魔法の言葉 他
東高津小学校 PTA	6・23 ～ 12・7	3 207 (0)	学ぼう、生きる力を育むためにできること	親と子の自立、反抗期の子どもへの対処法 他
久地小学校 PTA	7・6 ～ 12・1	5 126 (0)	子ども達の未来のために、出来る事を始めよう	アロマ講習会 / 始めよう生ごみリサイクル / ボクササイズ体験 他
西高津中学校 PTA	7・6 ～ 12・1	4 83 (5)	防災対策と健康	防災センター見学 / 防災出前講座 / 親子の健康について、地域のコミュニケーション 他

宮前市民館

※参加者数（ ）内は男性

実施団体	開設期間	回数 参加者数	テーマ	学習内容
宮前平小学校 PTA	7・4 ～ 1・20	3 82 (4)	地域と子どもを守る	防災への備え / 災害時の救命法 / 災害後のメンタルケアについて
南野川小学校 PTA	7・5 ～ 12・6	3 96 (0)	子どもの成長における親の関わり方	家族の絆 / 子どもとお金の関わり方 / 子どもに伝える食事の大切さ
有馬小学校 PTA	10・20 ～ 2・10	2 34 (0)	今、私たち親子に必要なこと	大切な命を救うために / これからの有馬小の子ども達に求められるもの
西有馬小学校 PTA	7・20 ～ 12・6	3 156 (0)	家族に笑顔を! 子どもの健全育成と親の役割	節電の夏から子どもを守る / 豊かな心を育てるために / 子どもの心を育てる子育て講座
宮崎小学校 PTA	7・6 ～ 2・9	3 148 (1)	子どもたちの心と体を守るために	熱中症対策 / 子どもと一緒に向き合おう「性と生」 / 子どもの自立と人前力
西梶ヶ谷小学校 PTA	7・8 ～ 11・21	3 60 (0)	子どもを守るために今、親が出ること	巣立ちを見守る親が出ること / 災害が起こる前に何をすべきか考えよう / CAP
富士見台小学校 PTA	7・4 ～ 11・11	3 150 (0)	守ろう! 笑顔あふれる子どもの未来	知って幸せ! 親のサポート術 / 子ども達と読書の幸せな出会いを / ご存知ですか AED
宮崎台小学校父母と先生の会	7・8 ～ 1・16	5 272 (0)	子どもの健全育成と親子の絆	熱中症対策 / 子どもを震災時に正しく守る・行動する / CAP 他
土橋小学校 PTA	7・7 ～ 2・14	4 207 (0)	大切にしたい笑顔の時間～親子のコミュニケーション	親子で身体を使ったコミュニケーション / 子ども達の安全を考える / 幸せになれる子に育てたい 他
上作延小学校 PTA	6・14 ～ 2・14	2 78 (2)	心身の健康を保つ	CAP / 子ども達の健やかな成長のためには

南原小学校 PTA	7・6 ～ 11・10	2 44 (0)	今出ること!親子で考えよう	親子で考えよう!エコとエネルギー/緊急時に子どもを守る親の心得
向丘小学校 PTA	7・8 ～ 1・26	3 88 (9)	守ろう!子どもの心と身体の安心と安全	子どもの性と向き合おう/小学生からの生活習慣病を予防するために/災害時の子どもの心の対応
梶ヶ谷小学校 PTA	11・25 ～ 2・3	2 61 (0)	心身ともに安定した子育てを目指して	親子で心と身体の健康を守る/親子の心の安定を図る
犬蔵小学校 PTA	7・5 ～ 10・27	2 103 (0)	豊かな成長を願って親子で育てよう心と体	教育相談から見えるもの/数直線の活用法(何故文章題は苦手なのか)
白幡台小学校 PTA	7・6 ～ 1・23	4 90 (0)	1人1人の個性を育む思いやる心の豊かさを学ぶ	思春期を迎える子ども達の心と体について1/いじめとは何なのかについて 他

多摩市民館

※参加者数()内は男性

実施団体	開設期間	回数 参加者数	テーマ	学習内容
宿河原小 PTA	7・7 ～ 2・22	4 231 (19)	絆・共に育もう明るい笑顔	災害に対する備え/子どもが自分を守るために親としてなにかができるか 他
長尾小 PTA	9・29 ～ 11・29	3 72 (0)	楽しく学んで、心も身体も健やかに	作文とストレッチを使った子どもの個性の伸ばし方/子どもの心に寄り添うために 他
中野島小 PTA	6・7 ～ 11・9	4 602 (13)	楽しく子どもの安全について考えよう	ハッキリ NO!と言える子に!/栄養と食の安全を考える 他
菅小 PTA	7・5 ～ 1・26	4 146 (1)	現代社会を生きぬいていく知恵と生命力を育てる	校長先生、栄養士の先生による講習会/インターネット講習会 他
東菅小 PTA	7・15 ～ 2・27	3 118 (5)	安全、安心な暮らしについて考える	放射能から身を守るために知っておきたいこと 他
南菅小 PTA	6・8 ～ 2・28	4 119 (5)	子供の心身の健康を守るために役立つこと	CAP 子どもの人権と心身を守る方法を学ぶ/親業について学ぶ 他
西菅小 PTA	6・23 ～ 2・21	4 222 (46)	育てよう健やかな心 笑顔いっぱい親子の和	音楽で広げよう親子の輪/あなたの思う福祉って? 他
東生田小 PTA	7・7 ～ 1・18	3 85 (2)	子供達の笑顔のために安心・安全健やかな心身を育てよう	災害から子どもの命を守るためにできること/親子でリフレッシュ体操親子の良い関係作り 他
三田小 PTA	7・12 ～ 12・9	3 90 (4)	子どもを守るために	災害非常時に役立つレシピ/災害時を生き抜く知恵 他
生田小 PTA	7・5 ～ 1・30	4 91 (1)	子どもの健やかな成長のために 親子で学び体験しよう	身近な道具で応急手当 東日本大震災に学ぶ課程での一工夫/共生、共育エクササイズ 他
南菅中 PTA	6・25 ～ 11・14	3 106 (14)	つなげよう心の輪 絆パワーアップ	心の絆を強めよう 他
生田中 PTA	6・11 ～ 1・14	5 132 (22)	私たち一人一人が今できることを考え学び絆を育む	70年前の生田にタイムスリップ/インターネットの危険性と子どもに伝える基本事項 他

麻生市民館

※参加者数()内は男性

実施団体	開設期間	回数 参加者数	テーマ	学習内容
麻生小学校 PTA	7・8 ～ 11・7	3 149 (0)	笑顔で育てる・笑顔が伸ばす	子どもを社会人として自立させるために/お母さんの笑顔が子どもを伸ばす
王禅寺中央小学校 PTA	7・8 ～ 9・8	2 51 (0)	安心・安全・楽しい子育て	安心・安全な子ども食生活/子どもを暴力から守る
岡上小学校 PTA	6・30 ～ 1・26	3 75 (0)	お母さんの笑顔が子どもの笑顔	褒めて導け/スキンシップのとりかた/思春期について
柿生小学校 PTA	6・21 ～ 10・21	2 111 (0)	守りたい・子どもたちの笑顔と安心	子どものいる家庭の災害対策/笑顔の子育て

片平小学校 PTA	9・16 ~ 11・17	2 115 (0)	子どもにとってより安全な生活環境を学ぼう	市の防災対策を知ると共に家庭の防災対策を再確認する / 親が子どもへどのように性を教えていくか
金程小学校保護者と教職員の会	6・21 ~ 12・6	3 117 (2)	生きる力と親子の絆を深めよう	CAP/心を育むスポーツについて考える / 親子のよりよいコミュニケーションの築き方
栗木台小学校 PTA	6・29 ~ 12・6	1 50 (0)	家族の健康と安全を守る	子どもと家族の命を守る
真福寺小学校 PTA	7・11 ~ 9・28	2 59 (1)	子どもの「からだ」と「こころ」を護る	子どもをとりまく環境の変化 / 子どもをとりまく食環境の変化
千代ヶ丘小学校 PTA	6・28 ~ 11・14	2 64 (0)	親として子どもたちに今できること	にこにこママになるために / CAP
長沢小学校 PTA	10・27 ~ 1・27	2 115 (0)	育てよう豊かな心と体	誕生学 / 反抗期について
西生田小学校 PTA	7・7 ~ 11・9	2 51 (0)	子どもの安全と生活環境を考えよう	夏休みに向けての安全対策 / 親子で楽しむ児童文学
はるひ野小中学校 PTA	7・5 ~ 9・27	4 296 (0)	家庭力を高めよう～絆を深める会話と笑顔～	ネット・携帯から子どもを守る家庭のルールづくり / 家族が笑顔になれるコミュニケーション法他
東柿生小学校 PTA	7・7 ~ 11・9	3 121 (0)	親と子の悩みや不安・みんなで話してみよう!	子育ての悩みを話し合ってみよう / 母にできる防災対策 / 食の安全
百合丘小学校 PTA	7・5 ~ 12・13	2 75 (0)	生きる底力を UP しよう!	子どもを伸ばすお手伝い / 防災 守りたいものを守る力
金程中学校 PTA	7・14	1 33 (1)	中学生の心の発達	男女の思春期について
柿生中学校 PTA	7・19	1 19 (1)	成長期の栄養	成長期に必要な栄養とは?正しい知識を学ぶ

生涯学習推進課

※参加者数 () 内は男性

実施団体	開設期間	回数 参加者数	テーマ	学習内容
川崎市 PTA 連絡協議会	2・9	1 110 (2)	知って楽しい簡単レシピ	女子栄養大の管理栄養士から、栄養や食事について学ぶ
幸区 PTA 協議会	2・15	1 41 (8)	原発事故と放射能問題	放射線や被曝の基礎知識とリスクバランスなど、子どもを持つ親として知っておくべきことを学ぶ
中原区 PTA 協議会	1・13	1 50 (15)	原発事故と放射能問題	
高津区 PTA 協議会	2・23	1 40 (9)	原発事故と放射能問題	
宮前区 PTA 協議会	2・29	1 94 (13)	原発事故と放射能問題	
麻生区 PTA 協議会	2・9	1 40 (11)	原発事故と放射能問題	

Ⅲ 3 (3) 自主グループ家庭教育学級講師派遣

幸市民館 「家族」を考える

主 題：いまの家族や社会のありようをみつめなおす

実施グループ：子育て・育児支援グループ わたぼうし

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・27	金	現代の家族のありよう	家族は何かをとらえなおす	社会・文芸評論家 芹沢 俊介
2	2・10	金	まぼろしの家族像	日常の暮らしでみえるまぼろしの家族像を考える	教育ジャーナリスト 青木 悦
3	16	木	家族の役割	家族の役割をみなおしてみよう	ルーテル学院大学名誉教授 増野 肇
4	24	金	わたしの日常の役割	日常の役割をひろげて、自分のよいところをみつけていく	増野 肇
5	3・1	木	家族の新しい見方・とらえ方	日常と違う役割を体験し、自分と家族を客観視し、関係性を整理する	増野 肇

●開設場所 幸市民館

●時間帯 13:30 ~ 15:30

●対 象 関心のある方

●参加者数 24人(男2人、女22人)

●延べ人数 86人

高津市民館 心を育てる子どもとの関わり方

実施グループ：川崎市地域女性連絡協議会

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	3・1	木	心を育てる子どもとの関わり方	幸せになれる子に育てるための「語りかけ育児」を学ぶ	NPO 法人 JAM ネットワーク 代表 高取 しづか

●開設場所 高津市民館

●時間帯 9:50 ~ 11:50

●対 象 関心のある方

●参加者数 23人(男0人、女23人)

●延べ人数 23人

Ⅲ 3 (4) 子育て支援啓発事業

事業名	活動内容	会場
川崎区子育て支援啓発事業	① 親子で楽しむ★人形劇とおはなしの会 地域の身近な子育て支援に関する情報提供や、子育て世代の交流を兼ねた親子参加のイベントを開催 11月23日(水) 10:50～12:00 参加者 55組 168人	教育文化会館
	② フリースペース 子育て広場“きょうぶん”就園前の子を持つ保護者同士の交流や情報交換、仲間づくりの場を提供する。通年実施に向けたプレ開催 11月29日(火) 10:00～11:30 参加者 7組 14人	
	③ フリースペース こそだてひろば“だいし” 就園前の子を持つ保護者同士の交流や情報交換、仲間づくりの場を提供する 実施期間：4月～3月(12月は除く) 第4水曜日 9:30～11:30 月1回開催 全11回 参加者延べ102人	大師分館
幸区子育て支援啓発事業	① 子育て広場の開設・子育て支援情報の発信 月2回(8月、休館日を除く) 全20回 参加者延べ684人 ② 第7回「みんなで子育てフェアさいわい」開催 2月4日(土) 10:00～15:00 参加者761人 主催：幸区子ども総合支援ネットワーク会議 みんなで子育てフェア部会 共催：幸区家庭教育推進協議会 ③ 親子のスキンシップ講座 3月8日(木) 10:00～12:00 参加者17組 講師：助産師 柳澤 裕美	幸市民館
中原区子育て支援啓発事業	子育て広場の開設、および情報の提供 ① ふれあい子育て広場 0歳～1歳半までの親子が交流するフリースペース 実施期間：5月～平成24年2月 第2・4水曜の午前中 月2回開催(8月除く) 全15回 参加者延べ 144組	中原市民館
高津区子育て支援啓発事業	キューピーランド 5月～2月(8月除く) 月1回 第2火曜日 10:00～12:00 計9回 参加者延べ553人 協力 高津市民館保育ボランティア登録者	高津市民館
宮前区子育て支援啓発事業	① 子育て世代が多い宮前区の特徴に着目し、みやまえうえるかむクラスを開催。23年に区内に転入した未就学児のいる家庭を対象に親子体操や地域別情報交換、区内の子育て情報の提供を実施した(宮前市民館6月10日45組、向丘出張所6月17日19組) ② たんぽぽ広場の開催、おおむね2歳以下の親子の交流、仲間づくりのためのフリースペース 毎月第2木曜日 10:00～11:30 67組 133人 ③ 未就学児のいる転入者に子育て情報の入った封筒を進呈 ④ 子育てに関するグループのリーフレットを作成・配布した ⑤ サロンに関するリーフレットを作成・配布した ⑥ 「子どもと楽しむミニ劇場」を平成24年3月3日に開催(来場者259人)し、鑑賞後に家庭・地域教育学級修了者と地域の親子の交流と情報交換を行った	宮前市民館
多摩区子育て支援啓発事業	子育てひろばの開設と子育て情報の発信 ① 子育てひろば 月2回 第2、第4火曜日(8月、年末年始、祝日を除く) 全20回 参加者 延べ421人 ② 外国人の子育てひろば 月1回 第2金曜日(8月、年末年始、祝日は除く) 全11回 参加者 延べ46人 ③ 子育て情報ひろば 年1回 平成24年2月1日開催 参加者37組	多摩市民館
麻生区子育て支援啓発事業	① 子育てフリースペース「よち・わく・のび」開催 原則第1・2水曜日「よちよちっこ、のびのびっこ」第3・4水曜日「わくわくっこ」 10:00～12:00 全37回 参加者550組 延べ1,139人 ② 子育てフリースペース拡大版「ふわふわ山の音楽会」 11月2日(水) 出演：山の音楽舎 参加者37組 延べ74人	麻生市民館

Ⅲ 3 (5) 家庭教育支援講座

	日時	参加者数	学習内容	講師	会場
教文	10月 3日 10:00～12:00	12	母親の笑顔が子どもや親子関係に及ぼす効果と実践	スマイル・ワン 代表 大槻 笑子	大師分館
幸	2月 4日 10:00～12:00	42	子育てがずっと楽になる!～親子でふれあうムーブメント～	子育てカウンセラー イ イエジャ 他	幸市民館
中原	12月 2日 16:00～19:00	35	「おと絵がたり」と一緒に親子で描こう!語ろう!影絵巻	おと絵がたり	中原市民館
高津	3月 6日 10:00～11:30	53	わらべうた 絵本の読みきかせ	ボランティアグループ おはなしの森	高津市民館
	3月10日 10:00～12:00	13	父親を対象に離乳食、ごはんづくり	管理栄養士 岡本 正子	高津市民館
	3月10日 10:00～12:00	13	母親を対象に絵本の読みきかせ	絵本講師 北 素子	高津市民館
	3月10日 14:00～16:00	26	子どもだけでなく、大人も大事な食事について	岡本 正子	高津市民館
	3月25日 9:30～11:30	6	「はたらく」ことについて、家庭で子どもとどう話せばいいの?	川崎市教育委員 中村 立子 他	すくらむ 21
宮前	2月 1日 10:00～12:00	65	子どもを伸ばしたい! その時大人に出来ること	教育評論家 親野智可等	宮前市民館
多摩	2月26日 10:00～12:00	59	ねえ、ぼくの気持ちわかってよ～自己肯定感のある子を育てるには～	教育心理カウンセラー 富田 富士也	多摩市民館
麻生	2月25日 10:00～12:00	41	子どもが伸びる聴き方・ほめ方・関わり方	(財)生涯学習開発財団 認定コーチ 竹田 慶	麻生市民館
	3月12日 13:30～15:30	28	子どもの個性の伸ばし方	竹田 慶	麻生市民館

Ⅲ 3 <参考> 家庭教育支援チーム

事業名	活動内容	会場
川崎区家庭教育支援チーム	①「平成23年度川崎区家庭教育推進事業について」 8月2日(火) 13:30～14:00 参加人数 4人 ②「平成23年度川崎区家庭教育推進事業の進捗状況について」 12月13日(火) 13:30～14:00 参加人数 4人 ③「平成23年度川崎区家庭教育推進事業の報告について」 3月13日(火) 13:30～14:00 参加人数 6人	教育文化会館
幸区家庭教育支援チーム	①「Family Edu(ファミリーエデュ) 会議」 3月2日(金) 10:00～12:00 参加人数 40人 PTA家庭教育学級の報告・情報交換	幸市民館
中原区家庭教育支援チーム	①「PTA等家庭教育学級 情報交換会」 4月28日(木) 10:00～12:00 参加人数 34人 ②「PTA等家庭教育学級 情報交換会」 6月16日(木) 10:00～12:00 参加人数 33人 ③「PTA等家庭教育学級 報告会」 2月24日(金) 10:00～12:00 参加人数 32人	中原市民館
高津区家庭教育支援チーム	①「高津区PTA等家庭教育学級説明会・家庭教育支援チーム会議」 5月7日(土) 9:30～12:00 参加人数 35人 ②「高津区PTA等家庭教育学級報告会・家庭教育支援チーム会議」 3月2日(金) 10:00～12:00 参加人数 26人	高津市民館
宮前区家庭教育支援チーム	①「PTA等家庭教育学級実施内容に関する情報交換」 5月19日(木) 9:30～12:00 参加人数 42人 ②「PTA等家庭教育学級の進捗状況に関する情報交換」 9月8日(木) 9:30～12:00 参加人数 41名 ③「PTA等家庭教育学級の実施報告、情報交換」 2月23日(木) 9:30～12:00 参加人数 26人	宮前市民館
多摩区家庭教育支援チーム	中学校と小学校と行政区の地域教育会議が集まり開催 ①「家庭教育学級報告会」 2月17日(金) 9:45～12:00 参加人数 32人	多摩市民館
麻生区家庭教育支援チーム	①「家庭教育支援チーム」情報交換会 9月27日(火) 10:00～12:00 参加人数 43人 ②「家庭教育支援チーム」報告会 3月6日(火) 10:00～12:00 参加人数 44人	麻生市民館

